

令和7年度

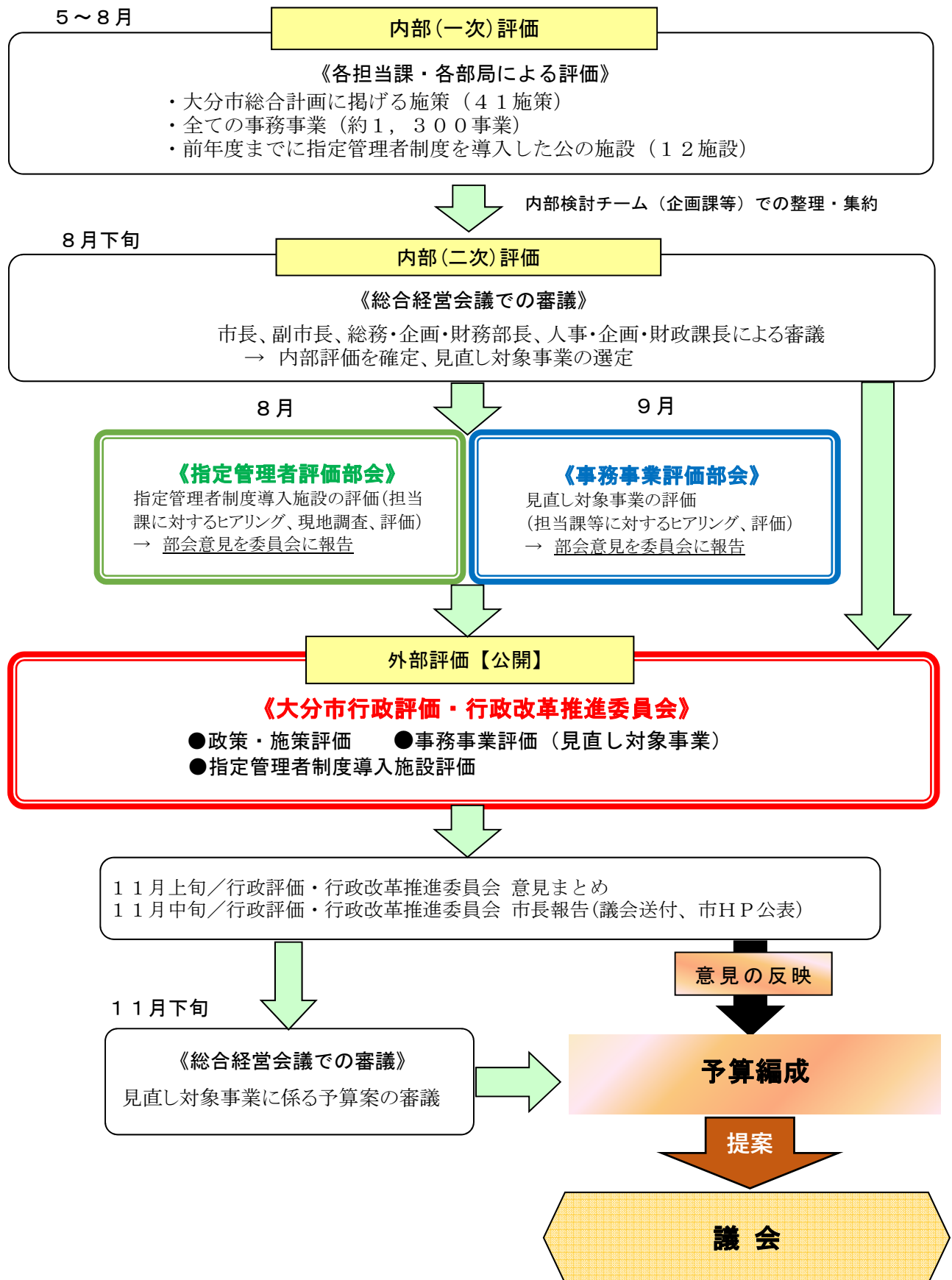
大分市行政評価に関する

大分市行政評価・行政改革推進委員会 意見書

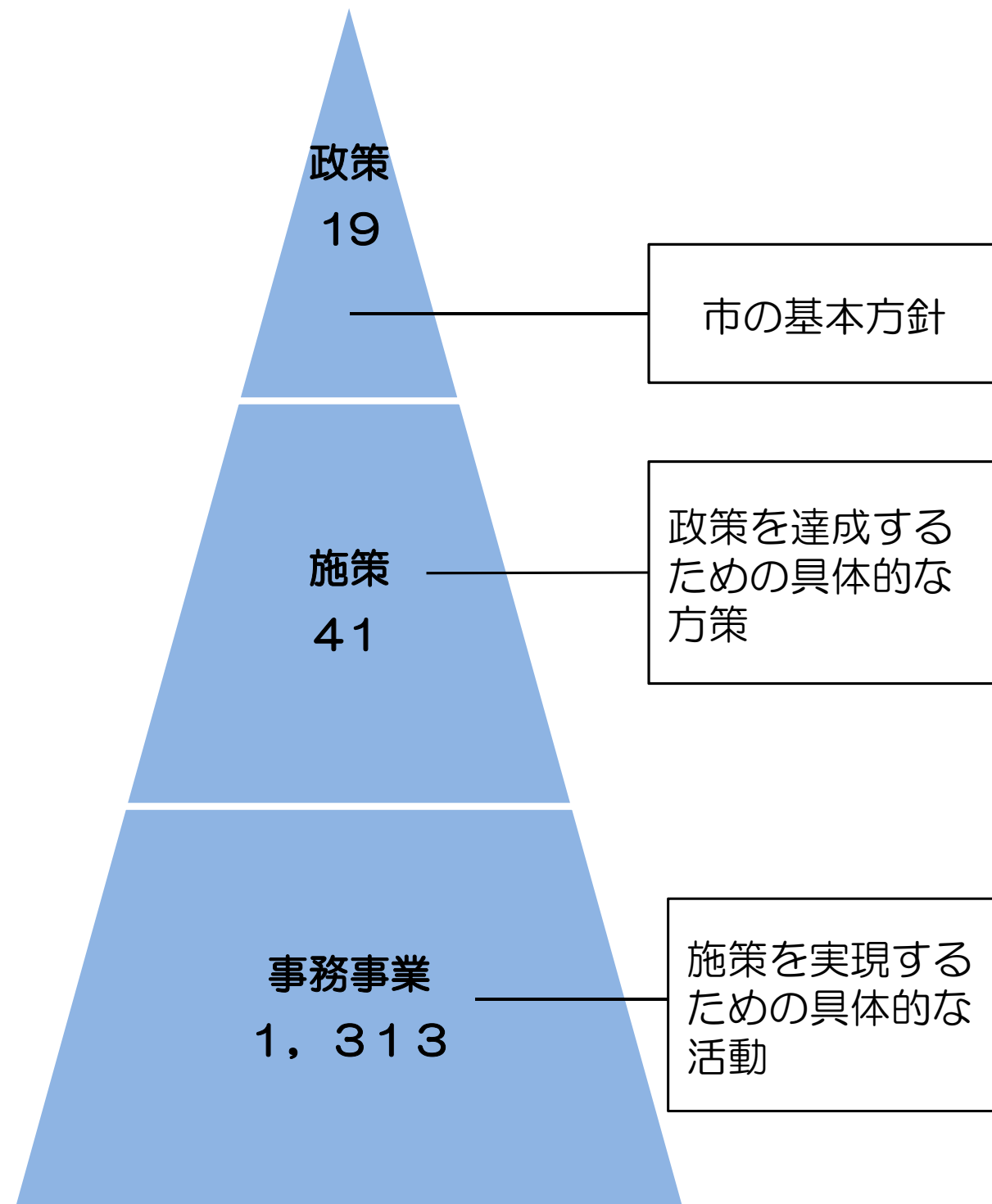
令和7年11月

大分市行政評価・行政改革推進委員会

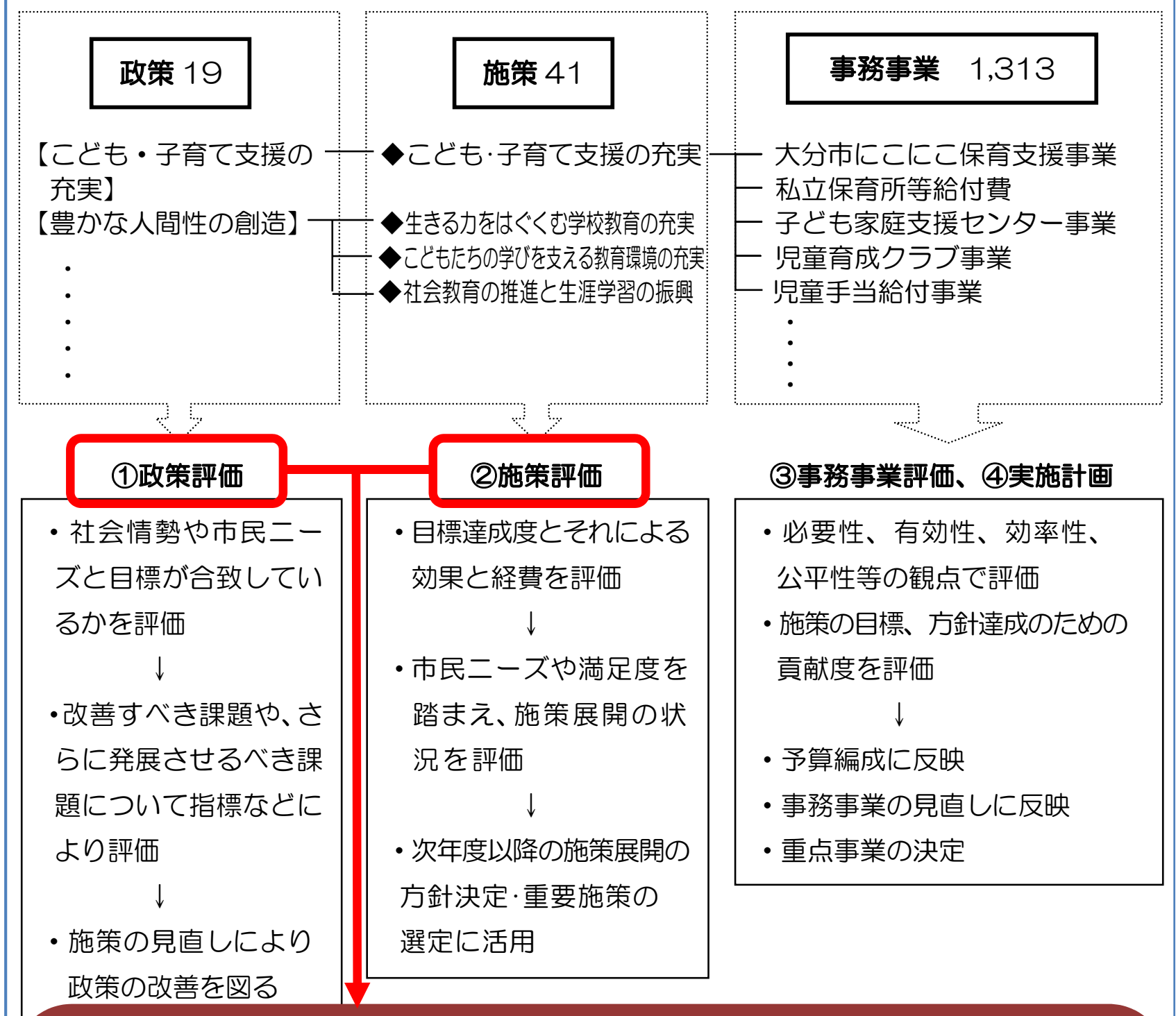
大分市行政評価制度フロー



総合計画の体系図



大分市総合計画 政策体系に基づく評価



政策・施策評価とは・・・

①総合計画に掲げられた目標について、社会情勢や市民ニーズに合致しているかを評価するため、指標などを設定し、改善すべき課題やさらに発展させるべき取組等について指標の変化を読み取りながら評価することによって、施策の見直しを行う中で政策の改善を図る。

②部局内における全ての施策について、政策の概要及び施策の目標や達成度を検証し、施策全体の中でどの施策の成果が向上したか等を分析することにより、施策展開の状況の評価し、その結果を踏まえ、次年度以降の施策展開の方針や重要施策の選定等に活用する。

新たな大分市総合計画『未来へつなぐ おおいたビジョン2034』について（概要）

1. 計画の構成及び期間

本市の目指すまちの姿（都市像）やそれを実現するための基本的な政策を示した「基本構想」と、具体的な政策・施策の体系や計画推進の基本姿勢を示した「基本計画」の2層で構成された市の最上位計画

＜基本構想の期間＞

令和7年度～令和16年度までの10年間

＜基本計画の期間＞

第1次：令和7年度～令和11年度の5年間

第2次：令和12年度～令和16年度の5年間

2. 本市を取り巻く社会情勢と課題

基本構想

1. 加速する少子高齢化と人口減少
2. 地域におけるつながりの希薄化
3. 安全・安心な社会への意識の高まり
4. ライフスタイルの多様化
5. デジタル化の進展
6. グローバル化の進展
7. 脱炭素社会の実現に向けた取組の広がり
8. 行財政改革の推進

3. 目指すまちの姿（都市像）

基本構想

誰もが“幸せ”を実感できるまち OITA

すべてのひとが、身体的・精神的・社会的にも満たされ、誰もが“幸せ”を実感することができる、ウェルビーイングな社会の実現を目指す。

〇目指すまちの方向性として掲げる3つの「基本的な政策」

1. 豊かな個性をはぐくみ、ともに成長できるまち
2. 共生する社会を実現し、安心して暮らせるまち
3. 新たな価値を創造し、未来に挑戦できるまち

4. 計画推進の基本姿勢

基本計画

1. ひとを中心としたまちづくり
2. 地域の個性を生かした自立したまちづくり
3. 新たな時代の市民ニーズに対応した多様な連携
4. 計画に基づく政策・施策の推進
5. デジタル技術の活用等による地方創生の更なる推進
6. 地方分権改革の推進
7. 持続可能な行財政運営の推進

誰もが“幸せ”を実感できるまち OITA

5. 政策体系（3体系／基本的な政策－具体的な政策－主な取組）

基本計画

＜基本的な政策①＞

豊かな **個性** をはぐくみ、ともに **成長** できるまち

＜政策1＞ こども・子育て支援の充実

- ・結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、切れ目のない支援の充実（男女の出会いの場の創出、経済的支援や相談支援体制の充実、情報提供や学習機会の充実 等）
- ・こどもと家庭へのきめ細かな支援（児童虐待の相談体制や関係機関等との連携、こどもの貧困の解消 等） 等

＜政策2＞ 豊かな人間性の創造

- ・「確かな学力」「豊かな人間性と社会性」「健やかな心身」の育成
- ・ICTを活用した情報教育の推進、特別支援教育の充実
- ・すべてのこどもの学びの保障（いじめ、不登校、児童虐待、ヤングケアラー等の複雑化・多様化する課題に対応 等）
- ・時代の変化に対応した教育環境の整備
- ・教職員の資質能力の向上及び働き方改革の推進
- ・生涯学習支援体制の充実（多様な学習機会の提供 等）
- ・文化や科学等に対する興味・関心を深める学習機会の提供
- ・学校、家庭、地域が連携・協働した取組の充実 等

＜政策3＞ スポーツの振興

- ・生涯スポーツの推進、競技スポーツの振興
- ・スポーツを指導・支援する人材の育成
- ・身近で楽しめるアーバンスポーツの推進 等

＜政策4＞ 個性豊かな文化・芸術の創造と発信

- ・文化・芸術活動を行う団体・個人の発表・活動機会の創出
- ・文化資源を次世代へ継承するデジタルアーカイブの充実 等

＜政策5＞ 国際化の推進

- ・多文化共生の実現に向け、人権教育・啓発や異文化理解・国際理解教育を推進
- ・グローバル社会に対応できる国際感覚豊かな人材の育成 等

＜基本的な政策②＞

共生 する社会を実現し、**安心** して暮らせるまち

＜政策6＞ 地域コミュニティの活性化

- ・地域コミュニティ活動を促進（正確でわかりやすい情報提供、デジタルを活用した自治会活動の円滑な運営 等） 等

＜政策7＞ 人権尊重社会の形成

- ・あらゆる人権問題の課題解決に向けた教育及び啓発や相談体制の充実、多様性を認め合う社会づくり 等

＜政策8＞ 社会福祉の充実

- ・複雑化・複合化した課題に対する包括的な支援体制の強化
- ・保健・医療・介護の多職種の連携により自立支援や重度化防止、認知症に対する正しい知識と理解を深める取組
- ・改正障害者差別解消法に基づく、合理的配慮の提供義務に係る周知・啓発 等

＜政策9＞ 健康の増進と医療体制の充実

- ・健康寿命の延伸に向けた支援、心の健康づくり
- ・地域医療情報ネットワークの取組を推進
- ・医療現場におけるDXの推進を支援
- ・保健所を感染症対策の中核的機関とし、新興・再興感染症の発生に備える 等

＜政策10＞ 防災・減災力の向上

- ・地域防災力の向上と官民連携の強化（自助及び共助の理念の普及啓発、こどもたちへの防災教育を推進 等）
- ・防災インフラやライフラインの整備・強靱化（特定建築物の耐震化、被災後の復興課題の整理や体制づくり 等） 等

＜政策11＞ 安心・安全な暮らしの確保

- ・交通安全思想の普及・徹底
- ・犯罪のないまちづくり（犯罪に若者を加担させないよう関係機関と連携した広報及び啓発 等） 等

＜基本的な政策③＞

新たな価値を **創造** し、未来に **挑戦** できるまち

＜政策12＞ DXの推進

- ・デジタル技術の活用による市民サービスの向上（行政手続きのオンライン化を推進、申請書の作成支援、オープンデータの利活用を促進 等）、デジタル人材の育成 等

＜政策13＞ 快適な生活環境の確立

- ・「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた取組の推進（省エネ機器や省エネ住宅等へ転換を促進 等）
- ・水素エネルギーの利活用 等

＜政策14＞ 活気ある商工業・流通の展開

- ・新たな産業の創出（若者に対する起業家教育 等）、産業集積の推進（半導体関連産業等のさらなる集積 等）
- ・物流インフラの強化支援 等

＜政策15＞ 特性を生かした農林水産業の振興

- ・担い手の確保・育成
- ・デジタル技術を活用した生産性向上 等

＜政策16＞ 魅力ある観光の振興

- ・観光資源の磨き上げと発掘、戦略的な情報発信 等

＜政策17＞ 安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実

- ・就労機会の拡大、労働環境の整備促進 等

＜政策18＞ 快適な都市構造の形成と機能の充実

- ・暮らしやすい持続可能な地区拠点の形成を目指す
- ・公共交通の確保・維持、自転車等利用環境の充実 等

＜政策19＞ 安定した生活基盤の形成

- ・下水汚泥の固形燃料による資源の利活用
- ・市民や移住者などの多様なニーズに対応した良好な居住環境づくり、公園施設の維持管理と美化活動の促進 等

新たな大分市総合計画『未来へつなぐ おおいたビジョン2034』について（概要）

6. 目標設定（指標）

基本計画

※全体で **114指標** を設定（内訳 **新規：77指標**、**継続：37指標**）

赤字の番号は**新規**の指標、**黒字**の番号は**継続**の指標

<21指標>

豊かな **個性** をはぐくみ、ともに **成長** できるまち

<政策1> こども・子育て支援の充実【2指標】

- 1「安心して子育てができています」と感じる市民の割合
2「地域で子育てが支えられている」と感じる市民の割合

<政策2> 豊かな人間性の創造【12指標】

- 3 国・県・市主催の学力調査における全国平均以上の教科の割合
4「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合
5 新体力テストにおける総合評価がC以上の児童生徒の割合
6 授業でPC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使用した児童生徒の割合
7「児童生徒一人ひとりの状況に応じた教育的支援が実施されている」と感じる保護者の割合
8「時代の変化に対応した教育環境が整備されている」と感じる保護者の割合
9「こども一人ひとりの個性を認め、伸ばしていく指導が行われている」と感じる保護者の割合
10「学校が地域と連携してこどもたちの教育活動を支えている」と感じる保護者の割合
11「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と思う児童生徒の割合
12「社会教育施設において、学びの機会が提供されている」と感じる市民の割合
13「地域社会の中でこどもたちが健全に育成されている」と感じる市民の割合
14 地区公民館及び地区人権教育（尊重）推進協議会の地区懇談会等への参加者数

<政策3> スポーツの振興【2指標】

- 15「週1回以上運動・スポーツを実施する」と答えた市民の割合
16「年1回以上スポーツ観戦する」と答えた市民の割合

<政策4>個性豊かな文化・芸術の創造と発信【3指標】

- 17「文化・芸術が盛んなまちである」と感じる市民の割合
18「文化施設（公設、民間問わず）の機能や施設数などが充実している」と感じる市民の割合
19「地域の歴史や文化資源に親しむ機会がある」と感じる市民の割合

<政策5> 国際化の推進【2指標】

- 20「国籍や民族、文化等の違いを認め合い、誰もが暮らしやすいまちである」と感じる市民の割合
21「国際交流する機会が身近にある」と感じる市民の割合

<37指標>

共生 する社会を実現し、**安心** して暮らせるまち

<政策6> 地域コミュニティの活性化【2指標】

- 22 おおむね小学校区単位で取り組むまちづくり推進組織の数
23「市民主体によるまちづくりが行われている」と感じる市民の割合

<政策7> 人権尊重社会の形成【4指標】

- 24 人権啓発センター（ヒューレおおいた）利用者数
25「講演会参加者の『今後に活かせる』と感じた割合」
26 固定的な性別役割分担意識に反対する人の割合
27 女性委員の構成比率が3割以上である委員会等の割合

<政策8> 社会福祉の充実【12指標】

- 28「地域福祉の推進」の施策に関する市民の満足度
29 アウトリーチ等を通じた継続的支援事業の相談受付件数

- 30「高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるために必要なサービスが提供されている」と感じる市民の割合
31 人との交流の場に週1回以上参加する高齢者の割合
32 認知症サポーター数
33 ヘルプマークの年間交付件数
34 大分市障がい者相談支援センター相談件数
35 就労支援サービス年間利用者数
36 当事者団体等との年間連携件数
37 手話通訳者の新規登録者数
38 特定健康診査受診率
39 生活保護受給者就労支援事業により就労を開始した人の数

<政策9> 健康の増進と医療体制の充実【7指標】

- 40 健康寿命の延伸
41 自殺死亡率（人口10万人あたりの自殺者数）
42 MR（麻しん・風しん混合）ワクチンの1期、2期の接種率
43「安心して必要な医療が受けられる」と感じる市民の割合
44 大分県感染症対策連携協議会への参画数
45「飲食店や理美容所、公衆浴場などの施設が清潔に保たれており、安心して利用できる」と感じる市民の割合
46「人と動物が共生する社会が実現している」と感じる市民の割合

<政策10> 防災・減災力の向上【5指標】

- 47 防災訓練を実施した自主防災組織割合
48「家庭内備蓄を行っている」と答えた市民の割合
49「災害対策の取組がすすみ、安心なまちづくりが実現した」と感じる市民の割合
50 大雨が予想される場合の水害監視カメラ映像の視聴者数及び視聴回数
51 雨水排水ポンプ場等の総排水能力

<政策11> 安心・安全な暮らしの確保【7指標】

- 52 住宅火災件数
53 消防団員数
54 目の前で倒れた心肺停止傷病者に対して、救急隊到着までに行った応急手当実施率
55 年間交通事故発生件数
56 年間交通事故死者数及び重傷者数の計
57 刑法犯認知件数
58 消費者啓発講座の受講者数

<56指標>

新たな価値を **創造** し、未来に **挑戦** できるまち

<政策12> DXの推進【5指標】

- 59「各種行政窓口・行政手続が利用しやすい」と感じる市民の割合
60 DXの推進により市民サービスの向上や業務の効率化に取り組んだ業務数（累計）
61 情報セキュリティ研修の受講率
62 ICT講習会受講者数（累計）
63 eラーニング及び研修の受講者数

<政策13> 快適な生活環境の確立【9指標】

- 64 大分市全体の温室効果ガス排出量（特定事業所を除く）
《基準年度（2013年度：3,448千t-CO₂）との比較値》
65 大分市全体の温室効果ガス排出量（特定事業所）
《基準年度（2013年度：23,557千t-CO₂）との比較値》
66 ごみ排出量
67 最終処分率
68 リサイクルに取り組んでいる市民の割合
69 大気汚染物質に係る環境基準達成項目

- 70 公共用水域の環境基準（BOD、COD）達成率
71「公害等で困ることなく生活できる環境である」と感じる市民の割合
72「身近なところに、自然に触れあえる場所や環境教育に触れる機会がある」と感じる市民の割合

<政策14> 活気ある商工業・流通の展開【4指標】

- 73「地域経済の活性化や雇用創出の場が増加した」と感じる市民の割合
74 中心部商店街の空き店舗率
75「安全・安心で品質の高い生鮮食料品等が流通している」と感じる市民の割合
76「物流が滞らない」と感じる市民の割合

<政策15> 特性を生かした農林水産業の振興【9指標】

- 77 新規就農者数（累計）
78 主要品目の販売額
79 集落の共同活動により、維持・管理している農地の面積
80 林業就業者数
81 乾しいたけ生産量
82 森林整備面積（ha）（累計）
83 新規就業者数（累計）
84 ブランド魚種の漁獲量
85 増殖場の造成面積（累積）

<政策16> 魅力ある観光の振興【3指標】

- 86 観光入込客数
87 観光宿泊客数
88 外国人観光宿泊客数

<政策17> 安定した雇用の確保と勤労者福祉の充実【3指標】

- 89 ハローワーク大分管内における新規求職申込者の就職率
90 UIJターン就職者数
91 おおいた勤労者サービスセンターの会員数

<政策18> 快適な都市構造の形成と機能の充実【9指標】

- 92 都市機能誘導区域内に立地する誘導施設の割合
93 居住推奨区域内の人口密度
94 幹線道路整備延長（累積）
95「心のバリアフリー」という用語の認知度
96 長寿命化計画における市道橋の修繕数
97 鉄道の乗車人員
98 路線バスの乗車人員
99 タクシーの乗車人員
100「自転車を週5日以上利用する」と答えた市民の割合

<政策19> 安定した生活基盤の形成【14指標】

- 101 基幹管路の耐震適合率
102 給水拠点用資機材の確保状況
103 建設改良積立金
104 水道水の水質基準適合率
105 汚水処理人口普及率
106 都市浸水対策達成率
107 重要な幹線の耐震化率
108 単年度収支の黒字化
109 放流水の水質基準適合率
110 住宅の耐震化率
111 老朽危険空き家等に対する大分市の支援を利用して行われた除却件数（累計）
112 施設整備を行った公園の割合
113 バリアフリースイレの整備率
114「身近なところで緑を感じたり親しむ事ができている」と感じる市民の割合

令和7年度 見直し対象事業一覧

番号	事業名 R7予算額(千円)	担当課	事業概要	見直しの方向性
1	プール管理運営事業	企画部 スポーツ振興課	市営温水プール、南大分体育館の温水プールにおいて、毎週土曜日を無料デーとして市民に開放している。	水質悪化や利用者の固定化といった面から、無料デーの実施回数の縮減を図る。
	-			
2	アーバンフェスタ開催事業	企画部 スポーツ振興課	スケードボード、BMX、3x3(バスケットボール)等のアーバンスポーツが楽しめるイベントを市内中心部で開催する。 ※令和7年度は11月、3月の年2回開催予定	開催回数について検討を行うとともに、市の負担額を削減する方向での検討を行う。
	4,000千円			
3	社会体育振興事業 (パブリックビューイング等)	企画部 スポーツ振興課	プロスポーツチームのパブリックビューイング(PV)やジャパンラグビーリーグワン所属チームのプレシーズンマッチ実施およびホームタウンチーム等の横断幕制作。	ラグビーのプレシーズンマッチは、ラグビートップリーグの試合を観戦できる機会の提供として必要性があるが、PVについては祝祭の広場や駅前において民間のイベントも頻繁に開催されており、市が実施する必要性が乏しいため、PVを廃止する。
	2,370千円			
4	デジタルツール運用事業 (AIチャットボット)	企画部 DX推進課	市ホームページ等からチャット形式で自動回答するシステム。 現行システムがサービス終了するため、令和8年度に別サービスへの移行が必要となっている。	移行費用が高額な為、移行費用を抑えた構成でサービスの提供が出来ないか検討を行う。
	1,551千円			
5	データ利活用推進事業 (人流分析サービス)	企画部 DX推進課	人流分析サービスは、GPSやWi-Fiなどのデータを活用し人の流れを分析するサービスで、商工労働観光部、都市計画部の業務を中心に活用を図っている。	運用を通じて、「20歳未満の情報取得が不可であるため、若年層の動向を把握できない」「生データを外部向けに利用できないため、他機関との連携活用が限定的である」などの課題が顕在化し、現状ではデータの精度や活用範囲が限定的であることから、本サービスの利用を停止とする。
	3,042千円			
6	地域情報化(ICT)推進事業	企画部 情報政策課	地域コミュニティポータルサイト(※)の運用支援 ※市民の手によるまちづくりや地域活動の活性化を支援することを目的に作成したホームページ。市内の地区ごとのイベント・講座・お知らせなど地域に密着した情報を市民が自ら発信することができる。	地域の情報発信や情報共有に活用できるSNSへの切り替えを含めて、サイトのあり方について検討を行う。
	1,100千円			
7	あなたが支える市民活動応援事業	市民部 市民協働推進課	ボランティアやNPO法人などの市民活動団体が主体的に行う公益性の高い活動に対して、市民の届出に応じた補助金を交付する。	申請回数の制限がなく、制度開始当初から補助を受け続けている団体が存在し、自立支援の観点から疑義が生じているため、上限額の引下げおよび申請回数の制限について、見直しを検討する。
	16,885千円			
8	市民活動支援事業	市民部 生活安全・男女 共同参画課	NPO法人や市民活動団体等の自主的な社会貢献活動を支援するほか、活動を市民に周知し、団体相互間のネットワークづくりの場としておおいたNPO博を開催する。 ※令和7年度は11月に開催予定	おおいたNPO博は、市民活動団体の活動内容を多くの市民に知ってもらう目的で開催するものであるが、開催から8年が経過し、その事業効果が不透明なことから、廃止について検討する。
	2,770千円			

令和7年度 見直し対象事業一覧

番号	事業名 R7予算額(千円)	担当課	事業概要	見直しの方向性
9	生活支援ホームヘルプサービス事業	福祉保健部 長寿福祉課	日常生活を営むのに何らかの支援を必要とする高齢者に対し、介護保険に準じた生活援助・身体介護をホームヘルパーが訪問して行う。 (対象者)65歳以上の介護保険対象外高齢者(ひとり暮らし、高齢者のみ世帯)、60～64歳の要支援・要介護状態の人	年々、利用者数・利用回数が減少しており、新規申請件数は直近3年間で年10件未満といった状況から、新規申請の受付を停止し、利用者がいなくなった時点をもって廃止とする。
	6,600千円			
10	障がい者福祉手当給付事業	福祉保健部 障害福祉課	特別障害者手当、障害児福祉手当等の手当を受給していない障がいのある人や、施設入所者で公的年金等を受給していない収入の少ない障がいのある人に、障がいの程度に応じて給付金を支給する。	本事業を開始した昭和47年当時は、各種手続きにおいて、市役所に来庁するための交通費に充てることを想定していた。その後、多様なサービスの充実等、障がい者を取り巻く環境が変化し、障がい者サービスの利用者が増加していることを踏まえ、現金給付からサービス給付へ転換を図っていく。
	282,000千円			
11	地域の居場所づくり推進事業	福祉保健部 生活福祉課	生活困窮者をはじめ、属性や世代の垣根を越えて地域の様々な人と気軽にかかわり、食事の提供を通した居場所(地域食堂)を提供する民間団体等の取組を支援する。	類似の他事業である「大分市子どもの居場所づくりネットワーク推進事業補助金」(子ども食堂に対する補助)とのバランスを考慮し、補助額の見直しを行う。
	9,100千円			
12	老・成人健康診査事業	福祉保健部 健康課	健康増進法に基づき、市民健診及び各種がん検診を実施。生活習慣病やその他の疾病を早期発見し、早期治療による回復を図ることにより、医療費抑制、市民の生活の質の向上、健康寿命の延伸につなげる。	受益者負担の考えのもと、大腸がん検診の自己負担額を無料から500円へ変更する。
	259,702千円			
13	私立学校振興費補助金	子どもすこやか部 子ども入園課	幼稚園における教育内容の充実及び教職員の資質の向上を図るため、学校法人立の幼稚園等(28園)へ補助金を交付する。	施設型給付費の基本分単価において類似する事業費が積算されていることから廃止する。
	16,109千円			
14	地球温暖化対策推進事業	環境部 環境対策課	地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、大分市地球温暖化対策実行計画を定め、市域全体及び市の事務事業から排出される温室効果ガス排出量の削減に取り組む。	長年実施している「地球温暖化対策おおいた市民会議」や「エコチャレンジ日誌」「省エネ啓発(ポスター印刷)」について、それぞれの役割や意義、効果を勘案し、実施方法の見直しを行う。
	2,071千円			
15	大分市認定職業訓練校運営費補助金	商工労働観光部 商工労政課	事業主などが雇用する従業員に対して、職業能力開発促進法に定められた基準により、計画的かつ体系的に職業訓練を行い、県知事の認定を受けた市内の認定職業訓練校に補助金を交付する。 ＜補助額＞ 各校81,000円(上限)	認定職業訓練校には県からの補助金(補助率2/3以内)がある。市からの補助額は、県の補助額に対し少額であり、市が補助金を交付する必要性は低いことから、令和7年度をもって廃止する。
	810千円			
16	おおいた米粉利用促進事業 (学校給食米粉パン補助金)	農林水産部 農政課	主食用米の消費が減少していく中、米粉は小麦粉の代替として期待されていることから、学校給食における米粉パン導入支援により、米の新規需要を創出する。	事業開始当初(H21)と米の生産、消費、価格の状況が大きく変化するなか、利用促進事業による目的は一定程度達成された。 また、他市町村での実施状況も考慮し、事業の廃止を検討する。
	5,252千円			

令和7年度 見直し対象事業一覧

番号	事業名 R7予算額(千円)	担当課	事業概要	見直しの方向性
17	道路パトロール等包括管理事業	土木建築部 道路維持課	道路パトロール等維持管理委託による安定した道路維持管理業務の推進を図る。	道路損傷箇所を自動検知するAIカメラの活用を図るほか、委託業務の効率化を図る。
	30,000千円			
18	おおいた洪水ハザードアプリ事業	土木建築部 河川・みなと振興課	災害時の避難の判断材料として利用してもらうため、洪水ハザードマップの浸水データや指定緊急避難場所等の防災情報を搭載したアプリを配信する。	県のアプリ「おおいた防災」と機能が重複していることから、大分市のアプリを廃止する。
	500千円			
19	路線バス代替交通運行事業	都市計画部 都市交通対策課	市内路線バスの一部運行ルートが休廃止となった野津原、滝尾、八幡の3地域において、通学・通勤等の利用ニーズに対応した移動手段を確保するため、定員9名のジャンボタクシー等による代替交通を運行する。	滝尾地域は利用低迷のため令和7年度をもって廃止とし、本年度、乗合タクシー「ふれあい交通」への移行について地元と検討を行う。
	83,331千円			

令和7年度事務事業評価部会 意見

一覧に掲載していない見直し対象事業については、市の示す見直しの方向性のとおり承認した。

No.	事業名	事業概要	見直しの方向性	部会意見
1	アーバンフェスタ開催事業	スケードボード、BMX、3x3(バスケットボール)等のアーバンスポーツが楽しめるイベントを市内中心部で開催する。 ※令和7年度は11月、3月の年2回開催予定	開催回数について検討を行うとともに、市の負担額を削減する方向での検討を行う。	今後のアーバンフェスタの在り方について、効果的な検討ができるよう、アンケートの取り方を工夫してもらいたい。
2	デジタルツール運用事業 (AIチャットボット)	市ホームページ等からチャット形式で自動回答するシステム。 現行システムがサービス終了するため、令和8年度に別サービスへの移行が必要となっている。	移行費用が高額な為、移行費用を抑えた構成でサービスの提供が出来ないか検討を行う。	年間の利用数が約2万件と、必要性は認められるため、他の安価なサービスの利活用について、検討してもらいたい。
3	データ利活用推進事業 (人流分析サービス)	人流分析サービスは、GPSやWi-Fiなどのデータを活用し人の流れを分析するサービスで、商工労働観光部、都市計画部の業務を中心に活用を図っている。	運用を通じて、「20歳未満の情報取得が不可であるため、若年層の動向を把握できない」「生データを外部向けに利用できないため、他機関との連携活用が限定的である」などの課題が顕在化し、現状ではデータの精度や活用範囲が限定的であることから、本サービスの利用を停止とする。	人流分析によって得られる情報は重要なものであるため、他の安価なサービスの利活用について、検討してもらいたい。
4	あなたが支える市民活動応援事業	ボランティアやNPO法人などの市民活動団体が主体的に行う公益性の高い活動に対して、市民の届出に応じた補助金を交付する。	申請回数の制限がなく、制度開始当初から補助を受け続けている団体が存在し、自立支援の観点から疑義が生じているため、上限額の引下げおよび申請回数の制限について、見直しを検討する。	補助金の交付が無くなることにより、存続が難しくなる団体が出る恐れがあるため、申請回数の制限については、団体の運営状況などを勘案したうえで十分に検討してもらいたい。 なお、申請回数に制限を設ける場合は、団体が自立して運営できるような支援は継続して行ってもらいたい。
5	市民活動支援事業	NPO法人や市民活動団体等の自主的な社会貢献活動を支援するほか、活動を市民に周知し、団体相互間のネットワークづくりの場としておおいたNPO博を開催する。 ※令和7年度は11月に開催予定	おおいたNPO博は、市民活動団体の活動内容を多くの市民に知ってもらう目的で開催するものであるが、開催から8年が経過し、その事業効果が不透明なことから、廃止について検討する。	今年度の開催を受け、そこで本当に事業効果が不透明なのか、効果があったのかを検証してもらいたい。
6	障がい者福祉手当給付事業	特別障害者手当、障害児福祉手当等の手当を受給していない障がいのある人や、施設入所者で公的年金等を受給していない収入の少ない障がいのある人に、障がいの程度に応じて給付金を支給する。	本事業を開始した昭和47年当時は、各種手続きにおいて、市役所に来庁するための交通費に充てることを想定していた。 その後、多様なサービスの充実等、障がい者を取り巻く環境が変化し、障がい者サービスの利用者が増加していることを踏まえ、現金給付からサービス給付へ転換を図っていく。	障がい者福祉費が年々増加するなか、本給付金の廃止に伴う財源については、必要性の高いサービスに活用してもらいたい。
委員会意見				
部会意見を委員会の意見とした。なお、上記6事業以外の「見直し対象事業」についても、廃止や縮小などの見直しの検討を引き続き行ってもらいたい。				
個別意見	・イベント等を通じ、若い人たちの街中や大分市への愛着づくりに繋がっていくような取り組みをお願いしたい。			
	・市民活動の支援において、補助等の削減は、その活動に参加する市民の負担につながる場合があることを考慮してもらいたい。			
	・物価高の中、障がい者福祉手当給付事業の見直しを行う為、一人でも多くの方が使うようなサービスへの振り替えを考慮してもらいたい。			

指定管理者制度導入施設評価について

指定管理者制度導入施設評価の概要

1 評価の流れ

- 7月 施設所管課より内部評価（評価シート）の提出
- 7月～8月 指定管理者評価部会による現地視察（6段階評価を実施した施設）、施設所管課に対するヒアリングを実施
- 10月27日 指定管理者評価部会意見を行政評価・行政改革推進委員会に報告

【指定管理者評価部会】（任期：令和5年8月9日～令和9年3月31日）

氏名		役職等	備考
部会長	石井 公二郎	中小企業診断士	行政評価・行政改革推進委員会委員
部会員	荒金 拓郎	社会保険労務士	
部会員	秋庭 淳志	大分県立文化芸術短期大学 講師	
部会員	林 勇貴	大分大学 経済学部 准教授	

2 評価手法

指定期間の経過年数に応じた評価手法を用い、自己評価と外部評価の2段階評価を実施

種 類		実施時期	評価の方法	指定管理者評価部会
6段階評価	4年目評価	指定期間の4年度目	採点を行い、S～Eの6段階で評価する	・現地視察 ・施設所管課へのヒアリング
	2年目評価	指定期間の2年度目		
年次評価（所見評価）		上記以外の年度	所見を記した文章により評価する	・施設所管課へのヒアリング

◆6段階評価の仕組みについて

①指定管理者の管理運営の実績を基に評価項目毎に採点を行う

評価の視点	評価項目	配点
1 施設の設置目的の達成に関する取組(有効性)	(1)施設の設置目的の達成	30
	(2)利用者の満足度	20
2 効率性の向上等に関する取組(効率性)	(1) 管理運営の効率性	15
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組(適正性)	(1) 適正な管理運営	30
	(2)地域貢献	5
計		100



②得点合計から評価ランクを決定

評価ランク	得点合計	評価
S	90点以上	特に優れている
A	80点～89点	優れている
B	70点～79点	やや優れている

評価ランク	得点合計	評価
C	60点～69点	適正である
D	50点～59点	努力が必要である
E	0点～49点	かなりの努力が必要である

令和7年度指定管理者制度の導入施設一覧（全12施設）

施設名	指定管理者制度導入年月日	指定後経過年数（年度）	所管課	利用料金制	指定管理者名	総合評価結果（6段階評価結果）
大分市丹生温泉	H17. 4. 1	20年	福祉保健課	○	（社福）大分市福祉会	
大分市多世代交流プラザ	H18. 4. 1	19年	福祉保健課		（社福）大分市社会福祉協議会	
平和市民公園能楽堂	H19. 4. 1	18年	文化振興課	○	平和市民公園能楽堂共同事業体	A (82. 2点)
大分市宇曾山荘	H19. 4. 1	18年	文化振興課	○	特定非営利活動法人 七瀬の里Nクラブ	B (78. 9点)
アートプラザ	H19. 4. 1	18年	美術振興課	○	アートプラザ共同事業体	A (82点)
大分市営温水プール	H19. 4. 1	18年	スポーツ振興課	○	日本水泳振興会・東急コミュニケーション共同事業体	B (77点)
大分市営陸上競技場並びに津留運動公園自由広場及びテニスコート	H20. 4. 1	17年	スポーツ振興課	○	大分リバースタジアム共同事業体	B (71. 9点)
コンパルホール	H23. 7. 20	14年	文化振興課	○	コンパルホール共同事業体	B (78. 6点)
市営住宅（一部）	H23. 4. 1	14年	住宅課		大分県住宅供給公社	A (84. 3点)
大分市関崎海星館	H23. 4. 1	14年	社会教育課	○	大分エージェンシー(株)	
ホルトホール大分	H25. 7. 20	12年	文化振興課	○	ホルトホール大分みらい共同事業体	B (78. 6点)
市営住宅（一部）	H26. 4. 1	11年	住宅課		（株）別大興産	A (80. 1点)
大分市大洲総合体育館	R2. 4. 1	5年	スポーツ振興課	○	ファビルス・プランニング大分共同事業体	

… 6段階評価及び現地視察の実施設

令和7年度指定管理者評価部会 総括意見

総括意見		
	①	指定管理者制度の目的である「公共サービスの質の向上」と「行政運営の効率化」を両立させるためには、指定管理者による適切な運営と、施設所管課による適切な成果管理及び改善促進を行う協働関係の構築が重要である。施設所管課においては、指定管理者の実施状況をしっかりとチェック・管理する中で、指定管理者と共に施設運営の改善に取り組まれない。
公共サービスの質の向上にかかる意見		
	②	利用者の満足度を上げるため、利用者アンケートの内容等の充実を図り、その結果を踏まえて施設のより良い運営に活かすよう協議されたい。また、施設間の評価を容易にするため、共通設問の作成を検討されたい。
	③	指定管理者の職員が疲弊してしまうことがあってはならないため、適正な管理運営の点から、指定管理者において適正な労務管理や法令遵守が行われているか確認されたい。また、現在の実績報告では労務管理の適正性が見えてこないため、労務管理についても報告させるよう検討されたい。
	④	施設の老朽化が進行する中で、サービスの質を向上させつつ適切に施設を維持管理していくため、施設所管課と指定管理者が十分に連携して施設の更なる収益化を図るなど、財源の確保に取り組まれない。
行政運営の効率化にかかる意見		
	⑤	運営にかかる効率性の向上を図るために、指定管理者から提出された収支等の資料についてはしっかりと確認されたい。仕入商品や再委託などについてしっかりとチェックされたい。
制度の改善にかかる意見		
	⑥	各施設の評価について、施設間で統一的な評価になっていないと思われる点がある。改善に向けて検討されたい。
委員会意見		
	部会意見を委員会の意見とした。	
	個別意見	<ul style="list-style-type: none">・昨今の最低賃金の上昇等を踏まえ、労働者保護の観点から、引き続き労務環境の把握・監督に努めていただきたい。・アンケートについて、例として、あえてネガティブな意見を引き出すような設問を設定し、その後の施設運営に活用するなどの手法も有効なのではないか。

所見評価用

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	福祉保健課				
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年6月27日				
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設				

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市丹生温泉施設						
	所在地	大分市大字丹生1189番地						
	設置目的	市民の健康の保持及び増進を図るとともに地域の活性化に寄与するため						
	施設の建築年 (又は事業開始年)	平成17年						
指定管理者	名称	社会福祉法人 大分市福祉会						
	代表者名	理事長 大塚 富造						
	所在地	大分市大字松岡3743番地						
指定管理業務の内容		①管理施設の利用に関する業務 ②管理施設の利用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理施設の維持管理に関する業務						
料金体系		【12歳以上】 1回310円 (11枚綴り回数券3,100円) 【6歳以上12歳未満】 1回140円 (11枚綴り回数券1,400円) 【6歳未満】 1回 70円 (11枚綴り回数券 700円)						
利用料金制		導入済			選定方法		公募	
指定期間		令和5年4月1日～令和10年3月31日 (5年間)			導入年度		平成17年度	
利用者数 (単位：人)				R6年度 目標④	43,750		達成率 ①／④	106%
17年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度③	R 6 年度①		17年度比 ①－②	R5年度比 ①－③
39,169	22,198	33,377	38,513	37,097	46,160		6,991	9,063
管理運営経費の削減額 (直営時比較・前指定期間比較) (単位：千円)								
直営時 管理運営経費(b)	前指定期間 最終年度R4年(c)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)	前指定期間比較 (a)－(c)	
4,166	5,216	6,303	5,216	5,000	5,000	834	▲ 216	
利用者満足度 (%)		満足	やや満足	配置職員数 (人)	直営時又は導入1年目		令和6年度	
		59.9	25		7		12	

2. 評価結果

評価項目
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】
1 事業計画の達成度
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。
自主事業は計画どおり実施されたか。
【評価の理由】 利用者数や会議室の稼働率など施設の設置目的の達成状況を示す指標について、目標（計画）及び実績、過去実績との比較、また、増減理由を明確に記入してください。 【利用者数（目標）】（R6）43,750人 【利用者数（実績）】（R6）46,160人 利用者数は、前年に比べ約9,000人の増加となり、計画していた利用目標を上回ることができた。 また、自主事業についても計画通り実施された。
利用者の満足度が得られているか。
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。
【評価の理由】 利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。 【施設の使いやすさ】（R6）満足：59.9％ やや満足：25.0％ 【職員の対応】（R6）満足：71.1％ やや満足：16.4％ 利用者アンケートの結果、施設の使いやすさや職員の対応について、利用者からは概ね満足が得られている。 また、利用者からの意見や要望についてはアンケート等を通じて把握し、改善できる部分は対応を行っている。

効率性の向上等に関する取組【効率性】
1 管理運営の効率性
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。
収入増加のための取組はされているか。
【評価の理由】 ※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。 【支出額】（R5）17,011,159円 （R6）19,851,734円 【収入額】（R5）10,770,920円 （R6）13,538,540円 前年度と比較して、支出額は約2,840,000円増加、収入額は約2,767,000円増加している。 支出増加の主な要因は、最低賃金やエネルギーコストの上昇により、人件費、燃料費、電気代が増加したことである。 一方で、清掃業務を大分市福祉会が運営する福祉工場が行うことで、外部委託費の削減に努めるなど経費削減に取り組んでいる。
公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】
1 適正な管理運営
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。
安全対策（事故防止等）は十分であったか。
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 事業計画等に基づき利用者サービスに影響しない人員配置、勤務体制を整えているほか、障がい者の活躍の場にもなっている。 研修については、人権・同和問題やAEDの取扱い、レジオネラ属菌対策等の各種研修を実施している。 また、公衆浴場法や労働関係法令などの各種法令を遵守している。 さらに、日頃から施設内を点検することはもとより、安全管理マニュアルを作成し、事故発生や災害発生時に迅速に対応できる体制を確保している。
2 地域貢献
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 地元の職員を雇用することや物品調達等を地元業者を優先的に選定するなど地域貢献に努めている。

【総合評価】

【所見】 ※管理運営に対する指摘事項等を記入 利用者数について、令和6年度は事業計画に掲げた目標値を達成することができ、新型コロナウイルス感染症の流行前と同程度まで回復した。 また、適正に管理運営がなされており、特に障がい者も活躍できる場となっていることは高く評価できる。 【今後の対応】 ※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入 施設設置から20年経過し、老朽化による不具合も発生しているため、施設の維持管理に必要な不可欠な設備については計画的に更新を行っていく。また、引き続き、利用者への丁寧な接客を行い、リピーターの確保及び新たな利用者の獲得に努める。
--

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①指定管理者から提出のあった人件費や委託費の資料について、その内容を担当課としてしっかり管理されたい。 ②利用者がくつろげるよう自動販売機の位置や中身の工夫、休憩室の整理整頓に努めてもらいたい。 ③引き続きアンケートの回答数の増加に努めてもらいたい。	①指定管理者から提出のあった資料の適切な管理に努めている。 ②自動販売機については入れ替えを行い、休憩室については整理整頓を行い利用者がくつろげるよう努めている。 ③アンケートについて、利用者へ声掛けをするなど、回答に協力してもらえるようにしている。

【R7年度 指定管理者評価部会の意見】

① 当該施設は設置後20年を経過し、今後修繕等が予想される状況。今後の施設運営をどのように行っていくか、中長期的なビジョンを持って運営されたい。 ② アンケートの調査については、既利用者からの回答について十分に精査を行うとともに、非利用者に対するアンケートを実施することで、より有効なアンケートとなるよう内容等の充実について検討されたい。
--

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	福祉保健課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年6月27日
施設種別	社会福祉施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市多世代交流プラザ						
	所在地	大分市大字野津原800番地						
	設置目的	世代間の交流及び高齢者等の健康の増進を図るとともに福祉に関する市民の自主的な活動を促進することにより、市民の福祉の向上に寄与するため						
	施設の建築年 (又は事業開始年)	平成12年						
指定管理者	名称	社会福祉法人 大分市社会福祉協議会						
	代表者名	会長 江藤 郁						
	所在地	大分市金池南1丁目5番1号 J:COMホルトホール大分4階						
指定管理業務の内容		①管理施設の利用に関する業務 ②福祉に関する各種相談、援助及び指導に関する業務 ③教養の向上及びレクリエーションに関する業務 ④健康の増進に関する業務 ⑤管理施設の維持管理に関する業務						
料金体系		-						
利用料金制		未導入			選定方法		任意指定	
指定期間		令和5年4月1日～令和10年3月31日 (5年間)				導入年度		平成18年度
利用者数 (単位:人)				R6年度 目標④	7,000		達成率 ①／④	61%
17年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度③	R 6 年度①		17年度比 ①－②	R5年度比 ①－③
7,208	2,628	2,701	4,010	4,653	4,277		▲ 2,931	▲ 376
管理運営経費の削減額 (直営時比較・前指定期間比較) (単位:千円)								
直営時 管理運営経費(b)	前指定期間 最終年度R 4 年(c)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)		前指定期間比較 (a)－(c)
6,574	5,274	5,262	5,274	5,300	5,300	▲ 1274		26
利用者満足度 (%)		満足	やや満足	配置職員数 (人)		直営時又は導入1年目		令和6年度
		77.1	11.7			2		3

2. 評価結果

評価項目
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】
1 事業計画の達成度
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。
自主事業は計画どおり実施されたか。
【評価の理由】 利用者数や会議室の稼働率など施設の設置目的の達成状況を示す指標について、目標（計画）及び実績、過去実績との比較、また、増減理由を明確に記入してください。 【利用者数（目標）】 (R6) 7,000人 【利用者数（実績）】 (R6) 4,277人 事業計画に従い、自主事業として親子クッキング教室やスカットボール大会等を行い、参加者数は前年度を上回った。 一方で、全体の利用者数は施設貸出の利用者数が減少したことにより、前年度と比較して約370人減少し、年間目標の達成には至らなかった。
2 利用者の満足度
利用者の満足度が得られているか。
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。
【評価の理由】 利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。 【施設の使いやすさ】 (R6) 満足：77.1% やや満足：11.7% 【職員の対応】 (R6) 満足：84.4% やや満足：7.5% 利用者アンケートの結果、施設の使いやすさや職員の対応について、利用者からは概ね満足が得られている。 また、利用者からの意見や要望についてはアンケート等を通じて把握し、改善できる部分是对応を行っている。

効率性の向上等に関する取組【効率性】
1 管理運営の効率性
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。
収入増加のための取組はされているか。
【評価の理由】 ※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。 【支出額】 (R5) 8,277,007円 (R6) 9,396,618円 【事業収入額】 (R5) 97,000円 (R6) 95,900円 支出額について、前年度と比較して約1,170,000円増加しており、管理運営経費の節減に努めてはいるものの、人件費の上昇が支出増加の主な要因となっている。 事業収入について、施設の利用料は無料であるが、自主事業実施時に利用者からの参加料を徴収しており、昨年度と同程度となっている。
公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】
1 適正な管理運営
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。
安全対策（事故防止等）は十分であったか。
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 事業計画に基づき、利用者サービスに影響しない人員配置、勤務体制を整えており、職員へ防災や人権・同和問題等の各種研修を実施している。 各種法令を遵守し、個人情報保護のための対策も適切に実施されている。 また、日頃から施設内を点検することはもとより、安全管理マニュアルを作成し、事故発生時や災害発生時に的確かつ迅速に対応できる体制を整えている。
2 地域貢献
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 物品調達・簡易な発注等について、地元業者を優先的に選定するなど地域貢献に努めている。

【総合評価】

【所見】	※管理運営に対する指摘事項等を記入 令和6年度も事業計画に掲げた目標値（利用者数：7,000人）の達成に至らなかった。 施設の管理運営は適正に行われているが、利用者が固定化されており、利用者の大幅な増加を見込むことが難しい。 【今後の対応】 ※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入 支所や公民館を含めた施設の在り方について検討してきたところであり、引き続き検討を行っていく。
------	--

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①雇用形態にかかわらず労働者の勤務状況を把握するよう担当課において管理されたい。 ②コロナ前に利用していた方に再び利用してもらうよう、利用者情報を取得し活用するよう指定管理者と協議されたい。 ③施設の設置目的に沿った指定管理業務ができているか担当課においてはしっかり把握されたい。	①職員の勤務状況の把握を行っている。 ②利用者情報について取得を行っている。 ③指定管理者評価部会の意見を受け、支所や公民館を含めた施設の在り方について検討してきたところであり、引き続き検討を行っていく。

【R7年度 指定管理者評価部会の意見】

① 利用者がコロナ前までに回復していない状況を踏まえ、施設の目的を再確認のうえ、利用者増に向けた施策を実施されたい。
② アンケートの調査については、既利用者からの回答について十分に精査を行うとともに、非利用者に対するアンケートを実施することで、より有効なアンケートとなるよう内容等の充実について検討されたい。
③ 市有資産活用という観点からも、組織横断的に将来的な活用方法の検討をされたい

6段階評価用

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	文化振興課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年6月27日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	平和市民公園能楽堂						
	所在地	大分市牧緑町1番30号						
	設置目的	能楽、邦楽その他の伝統的芸能文化の振興を図り、市民文化の向上に資する						
	施設の建築年 (又は事業開始)	平成元年度						
指定管理者	名称	平和市民公園能楽堂共同事業体						
	代表者名	代表構成員 株式会社 テイクファイブ 代表取締役 白石 成裕						
	所在地	大分市王子中町10番22号						
指定管理業務の内容		①指定管理の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理物件の維持管理に関する業務 ④利用促進及び文化の振興を図る業務 ⑤その他、大分市又は指定管理者が必要と認める業務						
料金体系		有料公演 68,640円～91,740円(平日)・82,500円～110,440円(土日) 無料公演 34,320円～45,870円(平日)・41,250円～55,220円(土日) 口ピーのみ 2,980 円～3,980円(平日)・3,520円～4,740円(土日)						
利用料金制		導入済			選定方法		公募	
指定期間		令和6年4月1日～令和11年3月31日 (5年間)			導入年度		平成19年度	
利用者数 (単位：人)				R6年度 目標④	33,000		達成率 ①／④	99%
18年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度③	R6年度①		〇〇年度比 ①－②	R5年度比 ①－③
23,501	13,026	16,553	31,673	32,530	32,830		9,329	300
管理運営経費の削減額(直営時比較・前指定期間比較) (単位：千円)								
直営時 管理運営経費(ｂ)	前指定期間 最終年度R5年(ｃ)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)	前指定期間比較 (a)－(c)	
47,089	51,670	51,670	51,670	51,670	54,916	7,827	3246	
利用者満足度 (%)		満足	やや満足	配置職員数 (人)		直営時又は導入1年目	令和6年度	
		85	7			7	10 (常勤のみ)	

2. 評価結果

評価項目／【配点】				評 価				
				特優	優	普通	劣	特劣
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】								
1 事業計画の達成度 / 【配点30点】								
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。（10点）				10	8	5	2	0
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。※目標指標関係（12点）				12	9.6	6	2.4	0
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。（5点）				5	4	2.5	1	0
自主事業は計画どおり実施されたか。（3点）				3	2.4	1.5	0.6	0
【評価の理由】 利用者数や会議室の稼働率など施設の設置目的の達成状況を示す指標について、目標（計画）及び実績、過去実績との比較、また、増減理由を明確に記入してください。 目標指数① 年間利用者数【指定管理者目標(R6)33,000人、実績(R6)32,830人 (R5)32,530人 (R4)31,673人 ※（参考）(R3)16,553人 (R2)13,026人 (R1)36,683人】 目標指数② 年間利用件数【市設定指標：－、指定管理者目標(R6)420件、実績 (R6)355件 (R5)388件 (R4)404件】 目標指数③ 主催する事業の年間実施件数【市設定指標：25回、指定管理者目標(R6)25回 実績(R6)31回 (R5)25回 (R4)25回】 目標指数について、R6年度は指定期間の初年度であったが、年間利用者数は目標値にわずかに及ばなかった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたR2、R3年度と徐々に回復傾向にあり、昨年と比べても300人増加 している。 また、令和6年度の「主催する事業の年間実施件数」の実績は31回（目標指標25回）で、目標指標および事業計画目標値を大きく上回っている。								
2 利用者の満足度 / 【配点20点】								
利用者の満足度が得られているか。（10点）				10	8	5	2	0
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。（5点）				5	4	2.5	1	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。（5点）				5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。 イベント参加者へのアンケートによる満足度（満足、やや満足）は令和4年度は約97％（満足87.8％、やや満足8.8％）、令和5年度は約97％（満足90.6％、やや満足6.8％）で、R6年度は92％（満足85.1％、やや満足7.0％）継続して高い満足度を得られている。 また、貸館利用者を対象とした利用者アンケートについては、満足度100％（満足92.1％、やや満足7.9％）となっており、アンケートを開始した令和3年度以降、満足度100％を継続している。								

効率性の向上等に関する取組【効率性】								
1 管理運営の効率性 / 【配点15点】								
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。（5点）				5	4	2.5	1	0
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。（5点）				5	4	2.5	1	0
収入増加のための取組はされているか。（5点）				5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。 R6年度は支出予算は66,464,000円に対し、支出決算63,904,815円であった。 （※R5年度：77,321千円、支出決算65,591千円 R4年度：支出予算88,387千円、支出決算79,575千円） 支出全体としては以前と比較して縮小傾向にある。これは、コロナ関連等の補助金を活用する事業が減少した事が主な要因である。収支全体では黒字経営を保っている。 また、電力会社との契約見直し等により光熱水費を抑えるなど、経費削減に努めた。 R6年度は収入予算は66,464,000円に対し、収入決算66,618,473円であった。 利用料収入 R6:5,665千円（※R5:4,849千円 R4: 5,289千円） 自主事業収入 R6:5,184千円（※R5:4,170千円 R4: 6,457千円） 補助金収入 R6: 800千円（※R5:6,036千円 R4:19,059千円） 全体の収入が減となっているのは、コロナ関連等の補助金収入が減少した事が要因である。								
公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】								
1 適正な管理運営 / 【配点30点】								
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（4点）				4	3.2	2	0.8	0
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。（4点）				4	3.2	2	0.8	0
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。（3点）				3	2.4	1.5	0.6	0
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。（3点）				3	2.4	1.5	0.6	0
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。（3点）				3	2.4	1.5	0.6	0
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（3点）				3	2.4	1.5	0.6	0
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。（3点）				3	2.4	1.5	0.6	0
安全対策（事故防止等）は十分であったか。（3点）				3	2.4	1.5	0.6	0
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。（4点）				4	3.2	2	0.8	0
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 法令の遵守に配慮し、第三者委託や事業計画等の変更について市の承認を得て実施している。 個人情報保護のための対策は適切であり、市民の公平かつ平等な利用も確保されている。 収支の内容に不適切な点はない。 安全管理マニュアル、緊急時対応マニュアル等を整備・適宜更新し、運用している。 施設の修繕や事故防止などの安全対策について、所管課との連携を密にしながら適切な対応がとられている。								
2 地域貢献 / 【配点5点】								
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。（5点）				5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 事業計画等に基づき、概ね適切な人員配置や勤務体制をとっている。 従業者への教育・研修は適切に行われている。 地域と共催で事業を行ったり、小中学生を対象に能楽鑑賞会を行うなど、地域との協働を図っている。								

【総合評価】

合計得点(100点満点)	82.2	評価ランク(S～E)	A
【評価の理由】 ※管理運営に対する指摘事項等を記入			
市との相談や協議を密に行い、適切に管理運営を行っている。能楽をはじめとした伝統的芸能文化の利用者獲得を主軸に、利用者が固定化・高齢化しつつある現状を受け、若年層を対象とした体験型ワークショップや、クラシック等能楽以外の公演も幅広く実施し、市民が広く伝統的芸能文化に触れる機会や施設を認知してもらうためのきっかけを多く生み出している。			
【今後の対応】 ※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入			
引き続き若年層やファミリー層など幅広い世代を対象とした事業を継続し、新規リピーターを創出することで、より多くの方が能楽や伝統文化に興味を持つきっかけを提供していく。なお、施設の経年劣化が進んでいるため、能舞台の保守・保全是もとより、施設機能の低下が予測できる箇所を市と指定管理者で連携しながら計画的に修繕改修していく。			

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①九州に二つしかない施設であり、広く活用すべく、広域市町へのアピールを積極的に実施されたい。 ②自主事業の実施により、全体としての利益率は向上しているものの、能楽堂の目的である「能楽」の利用率向上について協議検討されたい。	・初めての方でも来館しやすい自主事業の実施など、より多くの方に来館してもらう取り組みを進める中、能楽堂という稀有な施設が大分市にある事をより一層発信していけるよう引き続き努めていく。 ・小中学生に対しては、年に1回能楽出張教室を行っており、能楽文化のアピールに努めている。R6年度には、小学生向けの施設見学を開始し、好評だったため、今後市内の小学校に向け広報を行い、若年層の利用者増加につなげていきたい。

【R7年度 指定管理者評価部会の意見】

① 集客を通じて文化の振興・発展に繋げるよう、指定管理者に対し利用者の属性の報告指導を行うとともに、担当課においても協同してその内容を分析・検討されたい。
② より様々な文化振興事業を行えるようにするためにも、より収益化を図るよう指導されたい。

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	文化振興課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年6月27日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市宇曾山荘						
	所在地	大分市大字入蔵635-1						
	設置目的	豊かな自然環境を生かし、人や文化の交流の場を提供することにより、市民の心身の活力の向上に寄与するため						
	施設の建築年 (又は事業開始年)	平成2年度						
指定管理者	名称	特定非営利活動法人 七瀬の里Nクラブ						
	代表者名	理事長 森 慎一郎						
	所在地	大分市大字野津原397番地						
指定管理業務の内容		①大分市宇曾山荘の使用許可に関する業務 ②大分市宇曾山荘の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③大分市宇曾山荘の施設及び設備の維持管理に関する業務 ④大分市宇曾山荘の利用促進及び文市民の心身の活力の向上を図る業務 ⑤その他大分市宇曾山荘の管理に関して市長等が必要と認める業務						
料金体系		【研修室】1時間 440円(2分の1利用は220円) 【ホール】1時間 1,100円(2分の1利用は550円) 【のぎく・和室・洋室】1時間220円 【宿泊】1人1泊：一般 3,160円 高校生 2,440円 小中学生 1,730円 【テニスコート】1面1時間 440円(平日日中 220円) 照明施設：1面1時間 610円						
利用料金制		導入済			選定方法		公募	
指定期間		令和4年4月1日～ 令和9年3月31日 (5年間)				導入年度		平成19年度
利用者数 (単位：人)				R6年度 目標④	28,500		達成率 ①／④	114%
18年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度③	R6年度①		18年度比 ①－②	R5年度比 ①－③
14,444	24,127	25,857	30,693	29,669	32,363		17,919	2,694
管理運営経費の削減額(直営時比較・前指定期間比較) (単位：千円)								
直営時 管理運営経費(b)	前指定期間 最終年度R3年(c)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)		前指定期間比較 (a)－(c)
10,258	7,480	7,480	7,323	7,380	7,380	-2,878		▲ 100
利用者満足度 (%)		満足	やや満足	配置職員数 (人)		直営時又は導入1年目		令和6年度
		71	11			8		30

2. 評価結果

評価項目／【配点】						評 価				
						特優	優	普通	劣	特劣
施設の設置目的の達成(有効性の向上)に関する取組【有効性】										
1 事業計画の達成度 / 【配点30点】										
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。(10点)						10	8	5	2	0
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。※目標指標関係(12点)						12	9.6	6	2.4	0
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。(5点)						5	4	2.5	1	0
自主事業は計画どおり実施されたか。(3点)						3	2.4	1.5	0.6	0
【評価の理由】 目標指数①テニスコート利用者数【指定管理者目標：(R6)24,700人】 実績 (R6)26,419人 (R5)24,699人 (R4)25,767人 目標指数②山荘部分利用者数【指定管理者目標：(R6)4,500人】 実績 (R6)6,767人 (R5)5,775人 (R4)5,299人 ○目標指数について、テニスコート利用者数、山荘部分利用者数ともに市及び指定管理者設定の目標値を達成することができた。テニスコート利用者数は前年度よりも1,720人増、山荘部分利用者数は前年度よりも992人増となった。インターハイが大分県で開催されたことで合宿利用者が増加したこと、広報活動等に力を入れたことなどが増加の要因と思われる。今後とも、利用者からの意見や要望等の把握に努め、利用者の拡大につなげていきたい。 ○事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われた ○令和6年度より新たに実施した自主事業(サマーキャンプ)については、施設の設置目的に即した事業の取組となっており、また、利用者数向上にもつながった。 ○自主事業は計画どおり実施された。										
2 利用者の満足度 / 【配点20点】										
利用者の満足度が得られているか。(10点)						10	8	5	2	0
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。(5点)						5	4	2.5	1	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。(5点)						5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 予約のしやすさ、開館日・時間、使いやすさ、料金、食事、職員の対応の6項目の満足度を調査した結果、全体に占める満足度がR5年度は78%(満足68.2%、やや満足10.3%) R6年度は82%(満足70.8%、やや満足10.3%)となり、R5年度と比べて利用者の満足度は向上した。また、利用者の意見や要望についても適切に整理し、改善できる部分は早急に対応を行っている。										

効率性の向上等に関する取組【効率性】

1 管理運営の効率性 / 【配点15点】					
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。（5点）	5	4	2.5	1	0
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。（5点）	5	4	2.5	1	0
収入増加のための取組はされているか。（5点）	5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ○支出の推移は、R2：20,406千円、R3：24,741千円、R4:25,935千円、R5:33,979千円、R6:35,653千円となっており、R5と比較すると増大している。これは、山荘部分の利用者が増加したことによる委託料の増が主な要因であると考えられる。また、収支の推移は、R2：△67千円、R3：315千円、R4：100千円、R5：△305千円、R6：104千円となっており、黒字に転じた。 ○業務の再委託について、飲食業務委託料は山荘部分利用者の利用者増に伴い昨年度に比べて増加しているが、飲食業務委託料以外に要している経費については昨年度よりも減少しており、経費が最小となるように努めている。 ○利用料金の推移は、R2：7,638千円、R3：8,718千円、R4:8,588千円、R5:9,745千円、R6:10,847千円となっており、テニスコート利用者数が過去最多となったことや、山荘利用者数が新型コロナウイルス流行以前の人数を上回ったことにより、収入実績を伸ばしている。また、その他収入（食事、自主事業等）の推移は、R2：5,423千円、R3：8,856（6,346）千円、R4：10,124千円、R5：16,548千円、R6：17,529千円となっており、昨年度より収入が増加している。これは、広報活動等を積極的に行ったことが増加の要因と考えられる。					

公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】

1 適正な管理運営 / 【配点30点】						
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
安全対策（事故防止等）は十分であったか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	

【評価の理由】
○事業計画等に基づき適切な人員配置や勤務体制が行われている。
○接遇研修や人権研修、安全管理の研修等、時事に応じて実施している。
○個人情報保護のための対策は適切であり、市民の公平かつ平等な利用も確保されている。
○会計処理は適切に行われているが、一部不適切と思われる事例があった。
○施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われている。
○書類・備品等の管理は、適正に行われているが、一部不適切と思われる事例があった。
○施設の修繕や事故防止などの安全対策について、所管課との連携を密にしながら適切な対応がとられている。また、安全管理マニュアル、緊急時対応マニュアル等を整備・適宜更新し、運用している。
○法令の遵守に配慮しているが、一部不適切と思われる事例があった。

2 地域貢献 / 【配点5点】

雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。(5点)				5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ○地元雇用率は90%超となっており、地域の人材を積極的に活用している。再委託についても、極力地元の業者を活用するよう努めている。								

【総合評価】

合計得点(100点満点)	78.9	評価ランク(S～E)	B
【評価の理由】 ※管理運営に対する指摘事項等を記入 R6年度については、R5年度に比べてテニスコート、山荘部分のどちらも利用者数が増加した。広報活動を積極的に実施したことで、利用者数が伸びている。 【今後の対応】 ※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入 リピーターの獲得や、新規利用者呼び込みのための効果的な広報を今後も継続していく。また、施設の経年劣化が進んでおり、市と指定管理者で連携しながら施設機能の低下が予測できる箇所を計画的に修繕改修していく必要がある。			

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①宿泊施設であり、勤務体制、勤務時間の労務管理が重要であるため、所管課も労務管理状況をしっかりと把握されたい。 ②南海トラフ地震等の災害を想定し、危機管理体制、連絡体制、宿泊者対応などの不十分な準備を指導されたい。 ③アンケート内容に居住地の項目を設け、大分市民並びに広域市町の利用状況を確認されたい。 ④各施設のホームページ上でリンクがない状況となっているため、利用者数を増やすために担当課間による連携を行い、しっかり相互発信をされたい。	①労務管理については、適正に管理されていることを指定管理者へ確認した。今後も、労務管理状況をしっかりと把握していきたい。 ②災害時の対応について見直しを行い、新たにマニュアルを作成した。引き続き、指定管理者と実際の運用について協議を行い、マニュアルを更新していく。 ③アンケートへ居住地の項目を設定した。 ④各施設のホームページ上に宇曾山荘のリンクを設置しており、今後も、他施設とともにしっかりと情報発信を行っていきたい。

【R7年度 指定管理者評価部会の意見】

- ① 大分市民の利用率が30%程度であることを踏まえ、利用者属性の調査を継続してデータの蓄積及び分析を行い、より地域に貢献するよう事業を行われたい。
- ② 当該施設はより収益化を図ることが可能だと考えられる。検討を行うよう指導されたい。
- ③ 高齢労働者の健康管理状況についてしっかりと把握されたい。

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	美術振興課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年6月25日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	アートプラザ						
	所在地	大分市荷揚町3番31号						
	設置目的	市民の芸術文化活動の振興を図り、もって市民文化の向上に資すること。						
	施設の建築年 (又は事業開始年)	昭和41年度						
指定管理者	名称	アートプラザ共同事業体（㈱コンベンションリンケージ、㈱メンテナンス）						
	代表者名	代表構成員 株式会社コンベンションリンケージ 代表取締役 平位 博昭						
	所在地	大分市府内町1丁目3番18号 ボラリス府内						
指定管理業務の内容		①管理施設の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③管理物件の維持管理に関する業務 ④その他指定管理に付随する業務 ただし、3階磯崎新建築展示室及び2階60年代ホール展示業務、並びに1階収蔵庫本来の業務管理は市直営とする。						
料金体系		入館料：無料 貸館料：市民ギャラリーA：5,500円/日、市民ギャラリーB：2,350円/日、アートホール：9,950円/日・1,200円/時間、研修室：720円/時間、実技室：220円/時間 1. 利用時間に1時間未満の端数があるとき、又はその利用時間が1時間未満のときは1時間とする。 2. 冷暖房期間中は、上記により算定した利用料の4割に相当する額（その額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てた額）を加算する。						
利用料金制		導入済			選定方法		公募	
指定期間		令和 6年 4月 1日～令和 9年 3月 31日 （3年間）				導入年度		平成19年度
利用者数 （単位：人）					R6年度 目標④	180,000		達成率 ①／④ 64%
18年度② (直営時)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度③	R6年度①		18年度比 ①－②	R5年度比 ①－③
138,162	56,609	78,624	105,623	113,410	114,435		▲ 23,727	1,025
管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）（単位：千円）								
直営時 管理運営経費（b）	前指定期間 最終年度〇〇年（c）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(a)	直営時(初年度)比較 （a）－（b）		前指定期間比較 （a）－（c）
79,413	76,100	75,931	75,949	76,100	83,623	4210		7523
利用者満足度（%）		満足	やや満足	配置職員数（人）		直営時又は導入1年目		令和6年度
		75	11			10人（直営時）		23人

2. 評価結果

評価項目／【配点】	評 価				
	特優	優	普通	劣	特劣
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】					
1 事業計画の達成度 ／ 【配点30点】					
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。（10点）	10	8	5	2	0
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。※目標指標関係（12点）	12	9.6	6	2.4	0
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。（5点）	5	4	2.5	1	0
自主事業は計画どおり実施されたか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0
【評価の理由】 利用者数や会議室の稼働率など施設の設置目的の達成状況を示す指標について、目標（計画）及び実績、過去実績との比較、また、増減理由を明確に記入してください。 利用者数は目標値には達成しなかったものの、昨年度より5パーセント増加している。また、若手アーティストを支援する展覧会の開催や、建築関係者およびアートプラザスタッフが推薦する磯崎氏寄贈の図書をリレー形式で紹介するコーナーの設置など、企画力が高く評価できる。					
2 利用者の満足度 ／ 【配点20点】					
利用者の満足度が得られているか。（10点）	10	8	5	2	0
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。（5点）	5	4	2.5	1	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。（5点）	5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。 気候変動や施設構造の影響により空調設備が十分に機能せず、利用者満足度は昨年より低下しているが、目標値は上回る結果となっている。これは魅力的な企画運営やスタッフの接客対応の良さによるものと考えられる。					

効率性の向上等に関する取組【効率性】					
1 管理運営の効率性 ／ 【配点15点】					
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。（5点）	5	4	2.5	1	0
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。（5点）	5	4	2.5	1	0
収入増加のための取組はされているか。（5点）	5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。 光熱水費の高騰などにより、全体として収支は厳しい状況にあったが、ショップでの売上が予算を大きく上回り、評価に値する成果となった。					
公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】					
1 適正な管理運営 ／ 【配点30点】					
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（4点）	4	3.2	2	0.8	0
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。（4点）	4	3.2	2	0.8	0
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0
安全対策（事故防止等）は十分であったか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。（4点）	4	3.2	2	0.8	0
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 利用者の個人情報の適正な管理と、定期的な研修により、確実に管理していることが評価できる。					
2 地域貢献 ／ 【配点5点】					
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。（5点）	5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 商店街・県外施設との連携に優れたものがある。					

【総合評価】

合計得点（100点満点）	82	評価ランク（S～E）	A
【評価の理由】 ※管理運営に対する指摘事項等を記入 指定管理期間の3年間の初年度となるが、隣接する荷揚町複合公共施設内コモンスペースの開館に伴い、ギャラリー等の貸出の減が懸念されたが、利用料金収入こそ前年度比で下がったものの、利用者数は5%増となった。これは、スペース内で実施された北村直登展をはじめとしたイベントとのコラボレーションがうまくいった結果であり、特にミュージアムショップでは予定を大幅に上回る売上となった。コロナ禍以降、利用者数や利用料金収入等が大きく減少し、現在も以前の数値に戻っていない状況下であるが、磯崎新展示室への来館者も前年度に続き3万人を超える高水準となるなど明るい材料もあり、中心市街地における芸術文化の発信拠点としての機能を果たしていると考える。 【今後の対応】 ※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入 今後も引き続き、中心市街地における芸術文化の発信拠点として、地域住民や商業施設、市美術館をはじめとした文化施設との連携を深め、市内外に向けた発信の場を広げることで、新たな利用者層の獲得を期待したい。特に隣接するコモンスペースについてはギャラリー機能の重複という問題は抱えているものの、良い意味での相乗効果を期待したい。 併せて今後、施設の修繕箇所が増加が懸念されることから、指定管理者においては定期的なチェックやメンテナンスを実施し、施設所管課と連携する中で、予防保全に努めることが求められる。			

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①【教育普及に関する取組】 ・子供たちにどれくらい施設のことを周知できているか。それを把握するために、夏休みの課題に施設を訪れるような仕組み作りができないか検討されたい。	・教育現場や保護者負担等を考慮すると、市内の様々な公共施設の利用状況について一括してアンケート実施することが有効と考えられることから、関係部署と相談し実施可能か検討していきたい。
②【来館者の誘致に関する取組】 ・市内外から多くの人が訪れる「たのうらら」に磯崎建築を周知する仕組みを検討されたい。	・1階の路面電車を常設した歴史文化コーナーに、大分市の文化財の一つとして磯崎建築の紹介ができるように調整している。

【R7年度 指定管理者評価部会の意見】

① インバウンドの増加理由を分析し、より適切な情報発信を行われたい。
② 芸術文化の振興には、「見る場所」「学ぶ場所」「体験する場所」「発信する場所」などいくつかのセグメントがある。施設におけるセグメントを体系化し、各セグメントにおける成果を把握されたい。
③ 大分市美術館等との更なる連携の強化について検討されたい。

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	スポーツ振興課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年6月27日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市営温水プール						
	所在地	大分市西浜1番14号						
	設置目的	市民の心身の健全な発達に寄与するため。						
	施設の建築年 (又は事業開始年)	平成7年度						
指定管理者	名称	日本水泳振興会・東急コミュニティー共同事業体（㈱日本水泳振興会・㈱東急コミュニティー）						
	代表者名	㈱日本水泳振興会 代表取締役 坂元 要						
	所在地	東京都中野区東中野3丁目18番12号						
指定管理業務の内容		①管理施設の使用許可に関する業務 ②管理施設の使用に係る利用料金の収受に関する業務 ③管理施設の維持管理に関する業務 ④管理施設の利用促進及びスポーツの振興を図る業務 ⑤その他、市長等が必要と認める業務						
料金体系		【個人利用】大人：160円（330円） 高校生等：70円（160円） 幼児、小・中学生：40円（70円） ※（ ）内は温水期（10月～6月）料金 【教室】入会金：3,000円 受講料：1回毎は1,000円、練習回数により2,000円～5,000円						
利用料金制		導入済			選定方法		公募	
指定期間		令和6年4月1日～令和11年3月31日 （5年間）				導入年度		平成19年度
利用者数（単位：人）				R6年度 目標④	100,000		達成率 ①／④	101%
平成18年度② (直営時又は	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度③	R6年度①		〇〇年度比 ①－②	R5年度比 ①－③
109,317	70,939	88,229	95,570	105,039	101,395		▲7,922	▲3,644
管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）（単位：千円）								
直営時 管理運営経費（b）	前指定期間 最終年度6年（c）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(a)	直営時(初年度)比較 （a）－（b）		前指定期間比較 （a）－（c）
60,337	50,616	50,616	50,616	50,616	52,250	△8,087		1,634
利用者満足度（%）		満足	やや満足	配置職員数（人）		直営時又は導入1年目		令和6年度
		63	17			7		32

2. 評価結果

評価項目／【配点】					評 価				
					特優	優	普通	劣	特劣
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】									
1 事業計画の達成度 ／ 【配点30点】									
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。（10点）					10	8	5	2	0
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。※目標指標関係（12点）					12	10	6	2.4	0
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。（5点）					5	4	2.5	1	0
自主事業は計画どおり実施されたか。（3点）					3	2.4	1.5	0.6	0
【評価の理由】 利用者数や会議室の稼働率など施設の設置目的の達成状況を示す指標について、目標（計画）及び実績、過去実績との比較、また、増減理由を明確に記入してください。 利用者数 目標100,000人 実数101,395人（令和2年度70,939人 令和3年度88,229人 令和4年度95,570人 令和5年度105,039人） ○昨年度よりは利用人数は減っているものの目標人数は達成している。また、利用者ニーズに応じた自主事業を展開しています。 ○ホームページを利用し、水泳教室やフロア教室の広報が行われています。									
2 利用者の満足度 ／ 【配点20点】									
利用者の満足度が得られているか。（10点）					10	8	5	2	0
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。（5点）					5	4	2.5	1	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。（5点）					5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。 （満足・やや満足の回答率 令和3年度93% 令和4年度91% 令和5年度91%） ○回答結果においては91%の方が、満足・やや満足と回答しており、前年度と同水準である。 ○利用者の意見や要望の把握は適切に行われており、対応可能なものについてはすぐに対応をしています。 ○施設の休館情報等、随時情報提供を行っています。									

効率性の向上等に関する取組【効率性】

1 管理運営の効率性 / 【配点15点】							
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。（5点）			5	4	3	1	0
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。（5点）			5	4	2.5	1	0
収入増加のための取組はされているか。（5点）			5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。 ○自主事業を増やし会員数が増加したことにより収入が増加しました。（R4、35,645,869円、R5、43,299,554円、R6、44,364,018円） ○施設維持管理等について可能な限り職員が対応することとし経費の削減に努めています。							
公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】							
1 適正な管理運営 / 【配点30点】							
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（4点）			4	3.2	2	0.8	0
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。（4点）			4	3.2	2	0.8	0
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。（3点）			3	2.4	1.5	0.6	0
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。（3点）			3	2.4	1.5	0.6	0
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。（3点）			3	2.4	1.5	0.6	0
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（3点）			3	2.4	1.5	0.6	0
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。（3点）			3	2.4	1.5	0.6	0
安全対策（事故防止等）は十分であったか。（3点）			3	2.4	1.5	0.6	0
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。（4点）			4	3.2	2	0.8	0
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 ○法令に基づき適正に運営されている。 ○条例等に基づき、公平かつ平等な利用が確保されるように努めている。 ○従業員による安全指導など、安全管理に対して適切に対応されている。							
2 地域貢献 / 【配点5点】							
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。（5点）			5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 ○多様な勤務ローテーションにより過不足なく効率的に配置している。 ○人権・同和問題研修等、事業計画通りに実施されている。とくに、水上救助訓練・AED研修等危機管理研修への意識の高さがうかがえる。 ○従業員の地元雇用や再委託先の地元業者との再委託により地域の活性化に貢献している。							

【総合評価】

合計得点（100点満点）	77点	評価ランク（S～E）	B
【評価の理由】 ※管理運営に対する指摘事項等を記入 これまでの指定管理者としての経験等を活かし、施設の維持管理等が行われています。また、利用者ニーズに応じた自主事業が展開されています。 【今後の対応】 ※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入 ホームページなどを活用し、施設利用者数の向上に努めていただきたい。施設の管理について、経年による老朽化が進んでおり、大規模事故が生じないよう、施設所管課と綿密な連携を取りながら日常点検を行うことが必要である。			

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①「おむつ台を設置してほしい」という、アンケート回答が複数あるので、対応につき検討されたい。 ②施設環境への満足度について、「どちらともいえない」「やや不満」の回答が少なからず存在した。よりよい施設運営を行うため、回答の傾向を指定管理者に対して確認されたい。 ③避難訓練の実施状況については、事業報告書に避難訓練の実施状況について記載を求めるべきである。 ④物販事業にかかる、収支状況の適正性について担当課は確認されたい。	①おむつ台を設置するスペースがなく、おむつ交換等の場合は医務室等を利用してもらい対応しております。今後も指定管理者との協議を行いながらより良い指定管理施設運営に努めてまいります。 ②回答の傾向として施設の設備に対する要望が多数ありました。緊急性の高いものから対応を行い、施設の利便性の向上に努めてまいります。 ③避難訓練実施報告書を毎月の報告書に添付するよう指導しました。 ④物販の仕入れ値に対して物販収入が少ないため収支の適正化を指導しました。引き続き物販事業を含めた収支状況の適正化を図っていきます。

【R7年度 指定管理者評価部会の意見】

① コロナ以降は利用者数が伸びているが、直営時と比較すると減少している。適切な施設管理や集客に繋がる自主事業を行うことなどにより市民の心身の健康に寄与するよう、運営指導されたい。

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	企画部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年6月27日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市宮陸上競技場並びに津留運動公園有料公園施設（自由広場・テニスコート）									
	所在地	大分市西浜1番1号									
	設置目的	市民の体育及びレクリエーション等の用に供するため。									
	施設の建築年 (又は事業開始年)	昭和40年									
指定管理者	名称	大分リバースタジアム共同企業体（㈱グリーンフジタ・大分市陸上競技協会・㈱スポーツジョイ）									
	代表者名	㈱グリーンフジタ 代表取締役 井尾 文継									
	所在地	大分市中島中央2丁目2番25号									
指定管理業務の内容		①施設の使用許可に関する業務 ②施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③施設の維持管理及び修繕に関する業務 ④施設の利用促進及びスポーツの振興を図る業務 ⑤あらゆる世代の市民の健康づくりの拠点に関する業務 ⑥その他、市長等が必要と認める業務									
料金体系		【トラックフィールド】（個人利用・1名1回） 小学生～高校生は60円、大学生・一般は140円 （専用利用・4時間以内） 小学生～高校生は6,600円、大学生・一般は8,580円									
利用料金制		導入済			選定方法			公募			
指定期間		令和4年4月1日～			令和9年3月31日（5年間）		導入年度		年度		
利用者数（単位：人）				R6年度 目標④		248,000		達成率 ①／④		84%	
19年度② (直営時又は 制度導入1年目)		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度③		R6年度①	
H19年度比 ①－②		R5年度比 ①－③		R6年度①		H19年度比 ①－②		R5年度比 ①－③		R6年度①	
158,713		166,145		194,131		214,199		182,461		208,536	
49,823		26,075		208,536		49,823		26,075		208,536	
管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）（単位：千円）											
直営時 管理運営経費（b）		前指定期間 最終年度令和3年（c）		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度(a)	
63,170		60,092		60,092		60,000		60,000		60,000	
-3,170		-92		60,092		60,000		60,000		60,000	
利用者満足度（%）		満足		やや満足		配置職員数（人）		直営時又は導入1年目		令和6年度	
50		11		配置職員数（人）		6		12		12	

2. 評価結果

評価項目／【配点】	評 価				
	特優	優	普通	劣	特劣
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】					
1 事業計画の達成度 / 【配点30点】					
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。（10点）	10	8	5	2	0
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。※目標指標関係（12点）	12	9.6	6	2.4	0
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。（5点）	5	4	2.5	1	0
自主事業は計画どおり実施されたか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0
【評価の理由】 利用者数や会議室の稼働率など施設の設置目的の達成状況を示す指標について、目標（計画）及び実績、過去実績との比較、また、増減理由を明確に記入してください。 令和6年度利用者数：目標 248,000人（令和2年度 251,000人、令和3年度 245,000人、令和4年度 248,000人、令和5年度 172,000人） 令和6年度利用者数：実績 208,536人（令和2年度 166,145人、令和3年度 194,131人、令和4年度 214,199人、令和5年度 182,461人） ○陸上競技場の専用使用について、大会ごとの参加者数は減少しているが件数は過去最高数となり、自主事業についても新規教室が好調で自主事業収入も目標金額を上回る結果となった。 ○事業計画どおり行われており、ホームページやSNSを利用した広報により、利用者数の増加に寄与している。					
2 利用者の満足度 / 【配点20点】					
利用者の満足度が得られているか。（10点）	10	8	5	2	0
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。（5点）	5	4	2.5	1	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。（5点）	5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。 ○利用者アンケートの利用者満足度の達成度「清掃・安全管理」61%（目標値80%以上）「職員の対応」78%（目標値90%以上）であり、「清掃・安全管理」は、施設の老朽化による満足度の低下が挙げられる。「職員の対応」については、目標値には到達していないが概ね高い評価を得られている。（実施方法：受付窓口にはアンケート用紙を設置し、来場者へアンケート回答の協力やHPにアンケートページを掲載し依頼している。） （清掃・安全管理 令和2年度 76.8%、令和3年度 66.7%、令和4年度 60.9%、令和5年度 50.7% 職員の対応：令和2年度 86.9% 令和3年度 82.4%、令和4年度 80.9%、令和5年度 68.7%）					

効率性の向上等に関する取組【効率性】						
1 管理運営の効率性 / 【配点15点】						
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。（5点）	5	4	2.5	1	0	
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
収入増加のための取組はされているか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
【評価の理由】 ※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。 ○光熱水費の高騰により約1,700千円増加している。（光熱水費 令和4年度：8,049千円、令和5年度：6,694千円、令和6年度：8,359千円） ○施設の維持管理において可能な限り職員が行い、経費削減に努めている。						
公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】						
1 適正な管理運営 / 【配点30点】						
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
安全対策（事故防止等）は十分であったか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 ○法令に基づき適正に運営されている。 ○条例等に基づき、公平かつ平等な利用が確保されるように努めている。 ○従業員による安全指導など、安全管理に対して適切に対応されている。 ○計画よりも多く支出している項目があるが、他の費用の削減に取り組んだことにより、適正な状況である。						
2 地域貢献 / 【配点5点】						
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 ○多様な勤務ローテーションにより過不足なく効率的に配置されている。 ○人権・同和問題研修や、個人情報保護研修を実施するとともに、心肺蘇生講習会や接遇研修も実施している。 ○従業員の地元雇用や再委託先の地元業者との再委託により地域の活性化に貢献している。						

【総合評価】

合計得点（100点満点）	71.9	評価ランク（S～E）	B
【評価の理由】 ※管理運営に対する指摘事項等を記入 これまでの指定管理の実績を生かし、教室の開催時間や内容を利用者ニーズに沿った内容に変更するなどの取り組みを行い、利用者数確保に向けた取り組みを行っている。施設内の清掃や職員の対応にも高い評価を得られており、適正な施設運営がなされていると評価できる。 【今後の対応】 ※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入 施設管理について、老朽化による修繕や施設の各備品の修理などが多くなっていることから、重大な事故・故障等の発生防止に向け、施設所管課と連絡を取りながら、入念な点検・計画的な営繕に努める必要がある。			

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①モニタリング総合評価の評価が今後、今よりも向上させるための協議を指定管理者とされたい。 ②利用者数の増加を図るため、施設利用料のキャッシュレス決済の導入の検討や自主事業の若年層のニーズの把握によるプログラムの入れ替えなどを検討されたい。	①モニタリング総合評価を参考に収入増加のため企業に運動会の誘致等の取り組みを行ってきました。今後も指定管理者との協議を行いながらより指定管理施設運営に努めてまいります。 ②キャッシュレス決済について、野球場およびテニスコートは予約システムの改修に伴い、施設使用料のキャッシュレス決済が可能になり施設予約の利便性が向上しました。また、陸上競技場は、キャッシュレス決済導入について検討しましたが、導入・運用コストが高く、指定管理残期間に対して費用対効果が低いため協議のうえ導入を見送りました。 自主事業について、新規教室および資格をもった職員による教室の開催等新規ニーズの開拓に努めております。

【R7年度 指定管理者評価部会の意見】

- ① アンケート内容について、問題点の所在明確化と有効分析に向けた調査項目の追加を検討されたい。
② アンケートの要望にある利用時間の延長について、費用対効果を踏まえて早急に検討されたい。
③ 海や川の近くに立地する施設であるため、指定管理者に対し、リスク管理の指導をしっかりと行われたい。

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	文化振興課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年6月27日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	コンバルホール							
	所在地	大分市府内町1丁目5番38号							
	設置目的	市民文化の創造に寄与するとともに、市民生活の向上を図るため							
	施設の建築年 (又は事業開始)	昭和60年度							
指定管理者	名称	コンバルホール共同事業体							
	代表者名	代表構成員 株式会社コンベンション・リンケージ 代表取締役 平位 博昭							
	所在地	東京都千代田区三番町2番地							
指定管理業務の内容		①コンバルホールの使用許可に関する業務 ②コンバルホールの使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③コンバルホール（大分市民図書館コンバルホール分館・大分市男女共同参画センターを含む。）の施設及び設備の維持に関する業務 ④コンバルホールの利用促進及び文化とスポーツの振興を図る業務 ⑤教室・講座、イベント等の自主事業の実施に関する業務 ⑥その他コンバルホールの運営管理に関して市長等が必要と認める業務							
料金体系		【文化ホール】15,730円～70,780円 【多目的ホール】14,520円～65,340円 【会議室】360円～1,210円 【体育室】2,420円（全部使用・1時間あたり） 等							
利用料金制		導入済			選定方法		公募		
指定期間		令和4年4月1日～			令和9年3月31日	(5年間)	導入年度		平成23年度
利用者数（単位：人）				R6年度 目標④	619,500		達成率 ①／④	71%	
22年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度③	R6年度①		〇〇年度比 ①－②	R5年度比 ①－③	
541,857	262,423	292,335	354,007	469,360	437,196		▲ 104,661	▲ 32,164	
管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）（単位：千円）									
直営時 管理運営経費（b）	前指定期間 最終年度R3年（c）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(a)	直営時(初年度)比較 （a）－（b）		前指定期間比較 （a）－（c）	
159,200	175,537	175,537	153,781	142,038	139,560	▲ 19640		▲ 35977	
利用者満足度（%）		満足	やや満足	配置職員数（人）		直営時又は導入1年目		令和6年度	
		96	-			28		20	

2. 評価結果

評価項目／【配点】		評 価				
		特優	優	普通	劣	特劣
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】						
1 事業計画の達成度 / 【配点30点】						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。（10点）	10	8	5	2	0	
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。※目標指標関係（12点）	12	9.6	6	2.4	0	
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
自主事業は計画どおり実施されたか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
【評価の理由】 令和6年度利用者数（目標）619,500人（令和3年度：619,500人、令和4年度：619,500人、令和5年度:619,500人） 令和6年度利用者数（実績）437,196人（令和3年度：292,335人、令和4年度：354,007人、令和5年度:469,360人） 〇年間利用者は近隣ホールがR6年度にリニューアルオープンした事による市民ホール利用者の減、中央公民館の移転の影響により、R5年度より3万人以上減少し、目標数値を達成することができなかったがR4年度比では、施設全体で見ると108,851人増加している。 〇教室・講座の開催は目標指標を大きく上回っており、適正な管理運営が行われていたと評価できる。 〇ホームページ上で、部屋ごとの平面図や備品の設置数など、詳細な情報を写真付きで確認できるように更新を行った。						
2 利用者の満足度 / 【配点20点】						
利用者の満足度が得られているか。（10点）	10	8	5	2	0	
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
【評価の理由】 令和6年度アンケート結果 〇利用者アンケート（10月・3月の2回実施、サンプル数合計196）「総合満足度」とても良い/良いの割合は96.4%で、目標の81%を達成（令和3年度：86.5% 令和4年度：96.7%、令和5年度：97.0%） 〇自主事業満足度アンケート（サンプル数3,870）満足度平均94.0%（令和3年度：94.0% 令和4年度：95.4%、令和5年度：95.1%） 〇「退出時チェックシート」にて苦情・意見・要望の把握に努め、受付窓口等で承ったものと併せて全て翌月次報告にて対応を報告している。 以上より受付対応から自主事業に及ぶまで高い水準で満足を得られており、利用者の意見に真摯に対応していると評価できる。						

効率性の向上等に関する取組【効率性】						
1 管理運営の効率性 / 【配点15点】						
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。（5点）	5	4	2.5	1	0	
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
収入増加のための取組はされているか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
【評価の理由】 〇光熱水費高騰の影響で経費が増大するなか、経費の削減に努めたが、支出超過となっている。 〇電力会社を見直す等の取組を行う事で経費削減に努めている。その他、備品の適正管理を行う事で、備品購入費や修繕費の経費削減に努めている。 〇近隣ホール改修の影響により、R5年度比では利用料収入はやや減少したものの、自主事業費においては収入を増やしており、収入増に努めている。						
公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】						
1 適正な管理運営 / 【配点30点】						
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
安全対策（事故防止等）は十分であったか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	
【評価の理由】 〇正社員とパートを事業計画書に基づき配置し、必要な有資格者も適正に配置している。また、過去の実績に基づき従業員のシフトを組んで、従業員の休暇取得にも配慮している。 〇基本研修（マナー、接遇、苦情対応や介助人権等）や専門研修（自主事業企画運営）、外部講習（修了証取得含む）を実施し、スタッフのスキルアップを図っている。 〇毎月第1水曜日に3館実務者定例会議を実施し、連絡事項や共通課題、相互連携等について協議している。						
2 地域貢献 / 【配点5点】						
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
【評価の理由】 〇障害者就労支援団体と連携した「ふない天神町ごえん市」を毎月開催し、多くの市民が足を運んでいる。 〇小学生の社会見学、中学生の職場体験の受け入れを行うなど、地域に根差した施設となっている。 〇地元人材を優先する方針であり、県内雇用100%となっている。						

【総合評価】

合計得点（100点満点）	78.6	評価ランク（S～E）	B
【評価の理由】 ※管理運営に対する指摘事項等を記入 分野別の利用者アンケートや館長ポスト等様々な形で利用者の苦情・要望・意見の把握に努めており、評価指標のあるアンケートで高評価を受けていることから、その姿勢が広く利用者に評価されていることがうかがえる。また、検討や対応完了の段階で漏れなく所管課へ相談や報告があり、密な連携がとれていることも適切な対応・利用者サービスの維持向上に努めていると評価できる。 近年は施設の老朽化に伴うトラブル発生や改修工事に伴う現場の調整・管理、利用者への対応等が発生しており、企画業務が圧迫されている。スタッフの適正な労働環境を維持するとともに、新規事業への人員確保等に工夫・検討に努める必要がある。 【今後の対応】 ※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入 施設の老朽化に伴う設備補修など、近年は事後保全の対応件数が増加している。施設の維持管理に必要不可欠な設備については計画的に更新を行うなど予防保全への取り組みを強化する必要がある。			

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①充足率100%に達していない講座があるため、指定管理者側と充足率の観点から随時見直しをされたい。 ②講座数が増えている反面利用者数が減っているため、原因の分析を指定管理者に対して確認されたい。 ③アンケートの質問において「利用のしやすさ」が重複しているため、より具体的な質問を設け、施設のより良い運営につながるようされたい。	①教室講座の申し込みをwebで行えるようにチラシにQRコードを掲載し、申し込み手続きの利便性を向上させた。 ②大分県立総合文化センターの工事完了、荷揚公共複合施設の供用開始、大分中央公民館の移転などの要因で利用者が減少したと分析している。 ③アンケートの内容につき、指定管理者と協議を行っている。

【R7年度 指定管理者評価部会の意見】

① 施設のより効果的な活用を図るため、同様の施設との棲み分けや利活用方法について今一度検討されたい。
② 収支決算書の費用明細については、内容を十分に把握し、適切な運営がされているか確認されたい。不明点があれば、明確に分かる報告書の提出を要請するなど、十分に管理されたい。
③ 障がい者の職場体験等を実施していることから、その後の障がい者雇用について検討するよう協議されたい。

所見評価用

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	社会教育課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年6月27日
施設種別	文教施設

1. 指定概要

施設概要	名称	関崎海星館（JX金属 関崎みらい海星館）													
	所在地	大分市大字佐賀関4057番地の419													
	設置目的	海洋及び天文に関する学習の場を提供することにより市民の知識及び教養の向上を図るとともに、豊かな自然環境の下での余暇の活用に資すること。													
	施設の建築年 (又は事業開始年)	平成7年													
指定管理者	名称	大分エージェンシー㈱													
	代表者名	代表取締役 高倉 康弘													
	所在地	大分市法勝台1丁目1番13号													
指定管理業務の内容		①管理施設の運営業務 ②管理物件の維持管理業務 ③管理施設の利用促進、生涯学習の振興、地域の振興に関する業務 ④その他の業務 ⑤経営管理業務 ⑥前号に掲げるもののほか、大分市教育委員会又は指定管理者が必要と認める業務													
料金体系		入館料：無料 観覧料：天体観測（個人）中学生以下／無料、高校生／210円、大人／420円 （団体）中学生以下／無料、高校生／170円、大人／340円 ※10人以上から団体割引の対象 プラネタリウム（個人）小・中学生／100円、高校生／250円、大人／500円 （団体）小・中学生／80円、高校生／200円、大人／400円 ※10人以上から団体割引の対象 その他：（双眼鏡使用料）1回／100円（2分間）													
利用料金制		導入済			選定方法		公募								
指定期間		令和5年 4月 1日～ 令和10年 3月 31日（5年間）			導入年度		平成23年度								
利用者数（単位：人）				R6年度 目標④		41,000		達成率 ①／④		124%					
22年度② <small>(直営時又は 制度導入1年目)</small>		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度③		R6年度①		22年度比 ①－②		R5年度比 ①－③	
14,669		24,192		29,391		5,458		47,595		50,899		36,230		3,304	
管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）（単位：千円）															
直営時 管理運営経費（b）		前指定期間 最終年度 R4年（c）		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度(a)		直営時(初年度)比較 (a)－(b)		前指定期間比較 (a)－(c)	
27,760		4,668		28,010		4,668		39000		36500		8740		31832	
利用者満足度（%）				満足		やや満足		配置職員数（人）		直営時又は導入1年目		令和6年度			
				71		27				7		7			

2. 評価結果

評価項目
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】
1 事業計画の達成度
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。
自主事業は計画どおり実施されたか。
【評価の理由】 ○プラネタリウム、天体観測会等を通じて、海洋及び天文に関する学習の場を提供することにより、市民の知識及び教養の向上を図った。 ○アサギマダラの飛来を促す工夫をはじめ、植栽も四季折々に楽しめるよう管理しており、ロケーションの特性を生かした取組を行うことにより、利用者数の増加を図った。 ○HP、SNS（フェイスブックやインスタグラムやX）等を利用し、旬な話題を提供するとともに、現に検索されている項目を調査することにより、市民ニーズの把握に努めた。 ○学校新聞を配布し、こどもや家族連れの利用促進を図った。 ○プラネタリウム出張教室を実施し、海星館のアピールを行った。
2 利用者の満足度
利用者の満足度が得られているか。
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。
【評価の理由】 ○施設に対する総合評価のうち、「とても良い施設」、「良い施設」の割合が約98％と非常に高く、施設利用者の満足を得られている。 ○利用者アンケートは入館無料スペースに設置し、いつでも誰でも記入できるようにした。 ○自動販売機で販売するパンの仕入れについて、利用者の声をできるだけ反映している。 ○利用者からの交通アクセスに関する意見への対応として、グリーンスローモビリティを運行し、利便性の向上を図った。また、寄せられた道路への苦情については積極的に県土木事務所へ報告している。 ○利用者アンケートにおいて、プラネタリウムでの職員の星空生解説が一番人気で、プラネタリウム利用者の満足度が約86％と質の良いサービスを提供した。

効率性の向上等に関する取組【効率性】
1 管理運営の効率性
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。
収入増加のための取組はされているか。
【評価の理由】 ○ビル管理の専門的知識や経験を活かし、点検、修繕等の施設維持管理業務において経費の縮減に努めた。 ○ワークショップ外注による経費を削減するため、スタッフ運営による開催を増やし、支出抑制につなげた。 ○利用料収入について、天体観測、プラネタリウムによる収入が4,231,160円と前年に比べ1,243,250円減少しており、HPやSNS等での広報により利用者数は前年に比べ増加しているが、来館者を天体観測、プラネタリウムの利用に繋げる取り組みが課題である。
公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】
1 適正な管理運営
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。
安全対策（事故防止等）は十分であったか。
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。
【評価の理由】 ○事業計画通りの人員配置、勤務体制であった。イベント等の繁忙期には、駐車場誘導等の警備を外部に委託するなど、安全な運営に努めた。 ○事故発生につながる危険な行為を早期発見するため、1日3回以上の施設内循環を行った。また、労働関係法令の遵守に努めた。 ○日常点検マニュアル等を作成し、定期的な研修を通して、緊急時に適切な対応が取れるよう措置を講じた。 ○個人情報は厳重に保管している。またマニュアルを整備し、研修などで周知徹底を図っている。 ○施設の内観、外観の見回りを毎日行い、不具合を発見した際は迅速な修繕対応を行った。 ○ビル管理の専門的知識や経験を活かし、管理物件の修繕、点検等適切に行った。 ○安全管理マニュアルを整備しており、適宜行う防災訓練等を通じて体制の確保に努めた。
2 地域貢献
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。
【評価の理由】 ○海上保安部とのイベントの共催、職業体験の受け入れ、関係団体の展示コーナー設置、地元の方や佐賀関支所等との意見交換等を通じて地域や関係団体との連携、協働を図った。

【総合評価】

【所見】	※管理運営に対する指摘事項等を記入
天体望遠鏡、プラネタリウムを活用した事業を実施するとともに、美しい景色を生かした植栽管理、アサギマダラの飛来を促す環境作り、関係団体等との協力・連携等、教育面、観光面の両視点で集客力向上のための工夫を凝らしており、利用者アンケートによる満足度も非常に高く、指定管理業務について高い水準で行われているものと判断する。利用者数は前年に比べ増加しており、広報の効果もみられる一方で、利用料収入が前年に比べ減少しており、来館者を天体観察、プラネタリウムの利用に繋げることが今後の課題である。	
【今後の対応】	※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入
プラネタリウムや天体望遠鏡、展示設備を最大限活かせるように、SNS等を活用した広報活動や出張教室等の入館者数増加に向けた取り組みを継続していき、植栽による美しい景観や関崎灯台も含めた観光面についても引き続き情報発信を行い、施設の利用促進に努める。また、アクセス道路については、改善に向けて今後とも引き続き大分県へ要望を行う。	

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】	
主な意見等	市の対応状況
①家族層の利用はもとより、愛好家層等にアプローチをかけ、より多くの利用者確保に努めてもらいたい。 ②物販事業について、収支状況の適正性について担当課は確認された。 ③他市の市報などに掲載することや民間媒体の活用によるPRで利用者数が増えるよう努めてもらいたい。 ④ホームページの発信について、より興味を惹くような更新を順次された。	①SNSでの広報において、天体望遠鏡の性能や小型プラネタリウムの臨場感をPRするとともに、宇宙関連のNPO法人に向けた広報を行った。天文雑誌（天文ガイド）に毎月情報掲載。一般公開天文台・プラネタリウム紹介をするPA0ナビに情報公開中。 ②リニューアルオープン後1年経過し、在庫と販売数のバランスが取れて購入過多が改善され、安定した収益につながった。 ③他市の観光雑誌やテレビ、ラジオ、新聞等を活用した広報を行った。 ④ホームページの更新頻度を高め、旬な情報をその都度発信した。

【R7年度 指定管理者評価部会の意見】

① SNSの発信について、より集客に繋がるよう、内容の改善を図るべく指導されたい。
② 自主事業での出張教室については、施設の集客に繋げるよう指導するとともに、実施したことによる効果について報告するよう指導されたい。
③ 来館者の分析を行い、分析に基づいた広報活動を行うよう指導されたい。

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	文化振興課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年6月27日
施設種別	文化施設

1. 指定概要

施設概要	名称	ホルトホール大分					
	所在地	大分市金池南1丁目5番1号					
	設置目的	文化、福祉、健康、産業及び教育の拠点機能を複合し、有機的かつ効果的に連携させた集い・学び・憩い・賑わい・交流の場を創出することにより、大分の人と文化と産業を育み、創造し、発信するとともに、市民の豊かで充実した暮らしの実現に寄与すること。					
	施設の建築年 (又は事業開始)	平成24年度					
指定管理者	名称	ホルトホール大分みらい共同事業体（日本管財㈱九州本部・㈱九電工 大分支店・㈱コンベンションリンケー ジ・㈱プランニング大分・学校法人後藤学園）					
	代表者名	日本管財㈱九州本部 本部長 園木 択実					
	所在地	福岡市博多区博多駅東2丁目1番23号					
指定管理業務の内容		①運営管理施設の運営管理に関する業務 ②運営管理施設の使用許可に関する業務 ③運営管理施設の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ④運営管理物件における自主事業の実施に関する業務 ⑤運営管理施設の利用促進及び文化、福祉、健康、産業及び教育の振興を図る業務 ⑥その他、大分市又は指定管理者が必要と認める業務					
料金体系		【大ホール】 無料公演 32,580円～108,850円(平日)・ 39,080円～130,640円(土日)／有料公演 46,510円～279,820円(平日)・ 55,840円～335,870円(土日) 【小ホール】 無料公演 6,710円～22,420円(平日)・ 7,960円～26,820円(土日)／有料公演 9,530円～57,510円(平日)・ 11,420円～69,040円(土日) 【会議室】 1時間あたり420円～4,610円 【トレーニングルーム】 個人1回につき310円 等					
利用料金制		導入済		選定方法		公募	
指定期間		令和6年4月1日～令和10年3月31日（4年間）			導入年度		平成25年度
利用者数（単位：人）				R6年度 目標④	700,000	達成率 ①／④	82%
H25年度② <small>（直営時又は 前年度導入1年度）</small>	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度③	R6年度①	〇〇年度比 ①－②	R5年度比 ①－③
475,046	289,648	350,511	484,375	596,917	577,493	102,447	▲ 19,424
管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）（単位：千円）							
導入1年目 指定管理料（b）	前指定期間 最終年度R5年（c）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)	前指定期間比較 (a)－(c)
178,283	283,957	308,157	284,262	283,957	299,970	121,687	16,013
利用者満足度（%）	満足		やや満足	配置職員数（人）	直営時又は導入1年目		令和6年度
	72		16		52		68

2. 評価結果

評価項目／【配点】				評価				
				特優	優	普通	劣	特劣
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】								
1 事業計画の達成度／【配点30点】								
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。（10点）	10	8	5	2	0			
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。※目標指標関係（12点）	12	9.6	6	2.4	0			
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。（5点）	5	4	2.5	1	0			
自主事業は計画どおり実施されたか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0			
【評価の理由】 利用者数や会議室の稼働率など施設の設置目的の達成状況を示す指標について、目標（計画）及び実績、過去実績との比較、また、増減理由を明確に記入してください。 （利用者数 R1年度：718,485人 R2年度：289,648人 R3年度：350,511人 R4年度：484,375人 R5年度：596,917人 R6年度：577,493人） ○事業計画に従い、適切に施設の管理運営が行われた。 ○利用者数は前年度と比べて19,424人減少した。R5年度は近隣ホールの改修により市民ホールの需要が高まり、一時的に利用者増に繋がった。しかし改修終了後近隣ホール再開とともに、R6年度は利用者が分散したと思われる。コロナ前の水準には届かないものの、R4年比で見ると93,118人増加している。 ○全館連携の「ホルトホール大分まつり」を開催し1万人以上が来場するなど、複合文化交流拠点として「にぎわい創出」に貢献している。 ○自主事業は計画どおり実施された								
2 利用者の満足度／【配点20点】								
利用者の満足度が得られているか。（10点）	10	8	5	2	0			
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。（5点）	5	4	2.5	1	0			
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。（5点）	5	4	2.5	1	0			
【評価の理由】 利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。 （利用者満足度 R1年度 85.1% R2年度 96.1% R3年度 95.9% R4年度 95.6% R5年度 97% R6年度：87.9%） ○令和6年度に実施した利用者アンケートでの利用者満足度は87.9%であった。令和5年度の95.6%よりも低くなっているが、要因としてはアンケートの回答項目を変更したことに依るとと思われる。（これまで「満足、やや満足、やや不満、不満」のみの項目であったところに「普通」の項目を追加した。） ○接遇に対する一部の苦情は見受けられたが、接遇マナー研修に加え具体事例を取り上げた演習などの取組を行い市民サービス向上に努めた。								

効率性の向上等に関する取組【効率性】						
1 管理運営の効率性 / 【配点15点】						
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。（5点）	5	4	2.5	1	0	
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
収入増加のための取組はされているか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
【評価の理由】 ※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。 (指定管理料 R1年度：272,381千円 R2年度：316,514千円 R3年度：308,157千円 R4年度：284,262千円 R5年度：283,957千円 R6年度：299,970千円) ○電力会社を見直す等の取組を行う事で経費削減に努めている。その他、備品の適正管理を行う事で、備品購入費や修繕費の経費削減に努めている。 ○再委託を行う際は、報告を受け、業務内容や経費について確認を行っている。 ○近隣ホール改修の影響により、R5年度比では利用料収入はやや減少したものの、自主事業費においては大きく収入を増やしており、収入増に努めている。						
公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】						
1 適正な管理運営 / 【配点30点】						
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
安全対策（事故防止等）は十分であったか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 ○正社員とパートを事業計画書に基づき配置し、必要な有資格者も適正に配置している。 ○接遇・人権等の研修を実施し、正社員及びパートのスキルアップを図っている。 ○受付マニュアル等を各施設ごとに整備し、施設予約で不公平が生じないように受付窓口等で配慮している。 ○業務内において一部利用者への配慮に欠ける事例があったものの、その後個別研修を実施するなど改善対応を行っている。 利用者の個人情報の取り扱いについては適切に管理されている。 ○事業別に予算を設定し、毎月のモニタリングで収支を確認しており、適正な財務体制を維持している。 ○施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われている。 ○書類、備品の管理は適切に行われている。 ○安全管理マニュアルを作成し、定期的に避難訓練を実施するとともに、安全管理に必要な資格取得を促進している。 また、備品の保守点検・補修等で安全確保に努めている。 ○法令の遵守に配慮しており、業務の再委託や事業計画の変更等についても市の承認を得てから実施している。						
2 地域貢献 / 【配点5点】						
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
【評価の理由】 ※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。 ○市内からの雇用を積極的に進めており、地域の雇用創出に寄与している。 ○地域の大学と連携し、インターンシップ受け入れを行うなど次世代育成に貢献している。						

【総合評価】

合計得点（100点満点）	78.6	評価ランク（S～E）	B
【評価の理由】 ※管理運営に対する指摘事項等を記入			
・利用者数については目標達成とはならなかったものの、稼働率の向上に向けた利用料金設定の見直しや、予約の空きを利用した自主事業の実施など、ひとりでも多くの方がホルトホールに来場できるような取り組みがなされている。アンケート結果についてはこれまで高い満足度を維持しており、適切な接遇・マナー研修等もなされていることから、今後よりいっそうの市民サービスの向上を期待する。			
【今後の対応】 ※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入			
・利用者にとって親しみやすく、利用しやすい施設にしていいため、市と指定管理者が連携し、より質の高いサービスを提供していく。			

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①稼働率の向上を図るために、非利用者に対する施設ニーズアンケート調査を実施されたい。 ②トレーニングルームについては、利用者数を増やすだけでなく、幅広い年齢の方たちが使いやすいよう運営のありかたについて協議検討されたい。	①市外在住の学生などから聞き取りを行った。今後も施設ニーズの把握および稼働率向上に努めていく。 ②トレーニングルームについては、より幅広い年齢層の方が気軽に利用できるような自主事業の企画等に努めている。今後もひきつづき様々な年齢層が楽しめる施設運用を図る。

【R7年度 指定管理者評価部会の意見】

① 施設のより効果的な活用を図るため、同様の施設との棲み分けや利活用方法について今一度検討されたい。
② ホルトホールを構成する施設の収支内容が一部不明確であった。施設別に収支状況を細部まで把握し、今後の方向性を検討する際に活用されたい。
③ 人員が計画を大幅に超過している。人員管理の情報についてしっかりと把握し、指導されたい。

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	住宅課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年6月27日
施設種別	基盤施設

1. 指定概要

施設概要	名称	市営住宅(一部)						
	所在地	大分市荏隈910番地1 他						
	設置目的	国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転賃することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。						
	施設の建築年 (又は事業開始)							
指定管理者	名称	大分県住宅供給公社 (2,773戸)						
	代表者名	大分県住宅供給公社 理事長 山本 修司						
	所在地	大分市城崎町2丁目3番32号						
指定管理業務の内容		①入居者の公募並びに入居及び退去に関する業務 ②入居者の指導及び管理に関する業務 ③家賃及び駐車場使用料の収納に関する業務 ④市営住宅及び共同施設の維持管理並びに修繕に関する業務 ⑤その他、市長が特に必要と認める業務						
料金体系		(家賃)公営住宅法施行令第2条に規定する方法により算出した額 (駐車場使用料)大分市営住宅等駐車場の管理に関する要領に規定する方法により算出した額						
利用料金制		未導入			選定方法		任意指定	
指定期間		令和 4年 4月 1日～ 令和 9年 3月 31日 (5 年間)				導入年度	平成 23 年度	
家賃収納率 (単位 : %)				R6年度 目標④	98.5		達成率 ①／④	101%
H22年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度③	R 6 年度①	〇〇年度比 ①－②	R5年度比 ①－③	
97.98	99.99	99.96	99.95	99.88	99.72	1.74	-0.16	
管理運営経費の削減額 (直営時比較・前指定期間比較) (単位 : 千円)								
直営時 管理運営経費(b)	前指定期間 最終年度〇〇年(c)	R3年度		R4年度	R5年度	R6年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)	前指定期間比較 (a)－(c)
84,247	39,722	39,722		43,000	43,000	43,000	-41,247	3,278
利用者満足度 (%)		満足	やや満足	配置職員数 (人)		直営時又は導入1年目		令和6年度
		47.77	11.37			23		18

2. 評価結果

評価項目／【配点】		評 価				
		特優	優	普通	劣	特劣
施設の設置目的の達成 (有効性の向上) に関する取組【有効性】						
1 事業計画の達成度 / 【配点3 0点】						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。(1 0点)	10	8	5	2	0	
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。※目標指標関係 (1 2点)	12	9.6	6	2.4	0	
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。(5点)	5	4	2.5	1	0	
自主事業は計画どおり実施されたか。(3点)	3	2.4	1.5	0.6	0	
【評価の理由】 ○定期巡回等により、事故やトラブルの未然防止等に努めている。さらに、利用者からの施設の修繕に関する相談への対応も高く評価できる。 参考：アンケート調査において、修繕に関する相談をした際の対応について満足度93.31%、修繕の対応の迅速さについて満足度93.81%以上が「普通以上」と回答している。 ○ホームページで市営住宅の情報の発信を行うことにより、幅広く広報がなされている。また、ホームページは可能な限り最新の状態に更新できるように心がけており、情報を漏れなく市民に伝えることができている。 ○掲示物や設置物等の要望には、可能な限り対応しており、入居者の施設内での生活の利便性向上を目指して数多くの取組を実行している。						
2 利用者の満足度 / 【配点2 0点】						
利用者の満足度が得られているか。(1 0点)	10	8	5	2	0	
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。(5点)	5	4	2.5	1	0	
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。(5点)	5	4	2.5	1	0	
【評価の理由】 ○利用者アンケートの結果、利用者の満足度「普通以上92%以上」という目標を達成し (93.30%)、利用者の満足度が高いことが認められる。 なお、アンケートは郵送配布し、回収は郵送又は持参としている。回収率は42.4% (895件) である。 ○前年度の利用者アンケートにおいて、利用者の満足度は92.71%が普通以上の回答であったのに対して、今年度は93.59%となっている。前年度より0.88%満足度が高いという結果から、サービスの質や量が向上していることがうかがえる。 ○電話や窓口、アンケート等で苦情・要望等把握し、それらに対し迅速で適切な対応を行っている。 ○団地内で行われるものについては、事前に管理人を通じて文書の回覧等を行い、入居者全体に連絡をするようにしており、事務連絡の遺漏がないように効率的な手段を確立している。						

効率性の向上等に関する取組【効率性】						
1 管理運営の効率性 / 【配点1 5点】						
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。(5点)	5	4	2.5	1	0	
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。(5点)	5	4	2.5	1	0	
収入増加のための取組はされているか。(5点)	5	4	2.5	1	0	
【評価の理由】 ○制度導入1年目 (H23) と比較すると、人件費・事務費等管理運営費において縮減がなされている。 ○保守点検業務や修繕工事など、入札や見積の実施により、管理運営費の削減に努めている。 ○住宅使用料の滞納者に対し、文書、電話、住宅訪問による催告及び呼び出しによる納付指導がなされ、納付指導に応じない場合は、連帯保証人への納付指導依頼等を行っている。また、対象者選定補助業務など、法的措置に関しても本市と密に連携して早期回収を図り、適切に取り組んでいる。その結果、現年徴収率は、99.72%となり、目標の98.50%を上回る高水準となっている。現年度過年度合わせた徴収率は97.63%となり、高水準を達成している。						
公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】						
1 適正な管理運営 / 【配点3 0点】						
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。(4点)	4	3.2	2	0.8	0	
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。(4点)	4	3.2	2	0.8	0	
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか (使用料の減免等を含む。)。(3点)	3	2.4	1.5	0.6	0	
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。(3点)	3	2.4	1.5	0.6	0	
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。(3点)	3	2.4	1.5	0.6	0	
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。(3点)	3	2.4	1.5	0.6	0	
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。(3点)	3	2.4	1.5	0.6	0	
安全対策 (事故防止等) は十分であったか。(3点)	3	2.4	1.5	0.6	0	
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。(4点)	4	3.2	2	0.8	0	
【評価の理由】 ○法令等に違反する行為は見受けられておらず、関係法令の遵守に努めている。 ○個人情報保護に関する研修を実施する、個人情報を持ち出す際は使用目的・持ち出し時間等がわかるよう記録するなど適切な対応がとられている。 ○偏った対応は認められておらず、市民に対する平等な対応をしていることが伺える。 ○他の公営住宅や民間賃貸住宅の管理も手掛けており、安定的な経営が行われている。 ○事故等に対し迅速な対応ができるよう安全管理・危機管理マニュアルを策定し、緊急連絡体制を確立している。						
2 地域貢献 / 【配点5点】						
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。(5点)	5	4	2.5	1	0	
【評価の理由】 ○保守点検業務や修繕工事など、地元企業も参加した入札を実施している。						

【総合評価】

合計得点 (100点満点)	84.3	評価ランク (S～E)	A
【評価の理由】 ※管理運営に対する指摘事項等を記入 現年度過年度合わせた徴収率は97.63%となり、前5年間と比較して高い徴収率となっていることから、指定管理者の着実な努力がうかがえる。また、入居者からのアンケートでも満足度が高く、これまでの経験により蓄積されたノウハウを活かし、入居者からの要望や苦情に対し、迅速かつ的確に対応できる体制となっていることも評価できる。 【今後の対応】 ※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入			

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①指定管理2社を比較すると人件費が別大興産より高い結果となっている。各社の適切な支出かどうかを判断するコスト評価の基準を設定されたい。 ②2社のコスト比較を行うために、それぞれの事業報告書の統一や決算資料の科目統一ができないか検討されたい。	①コスト評価の基準については、指定管理料全体において予算の範囲内で運用できているかを第一の基準としている。細目の基準設定については引き続き検討する。 ②2社のコストを比較しやすいよう、R6年度から報告書を一部統一している。

【R7年度 指定管理者評価部会の意見】

- ① 同種の業務を行う他社と比較すると、管理1戸当たりの人件費が大きい。委託費の算定基準として、1人当たりの管理戸数基準の設定等、基準の導入を検討されたい。
② 同種の業務を行う他社間において、それぞれが持つノウハウを共有できる場を持つことを検討されたい。
③ アンケートを集計するに対しては、年齢別の満足度も調査するなど、利用者ニーズをより正確に把握するよう指導されたい。

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	住宅課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年6月27日
施設種別	基盤施設

1. 指定概要

施設概要	名称	市営住宅(一部)						
	所在地	大分市荏隈910番地1 他						
	設置目的	国及び地方公共団体が協力して、健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸し、又は転貸することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。						
	施設の建築年 (又は事業開始)							
指定管理者	名称	(株)別大興産 (2,189戸)						
	代表者名	(株)別大興産 代表取締役 伊勢戸 英世						
	所在地	別府市餅ヶ浜町10番8号						
指定管理業務の内容		①入居者の公募並びに入居及び退去に関する業務 ②入居者の指導及び管理に関する業務 ③家賃及び駐車場使用料の収納に関する業務 ④市営住宅及び共同施設の維持管理並びに修繕に関する業務 ⑤その他、市長が特に必要と認める業務						
料金体系		(家賃)公営住宅法施行令第2条に規定する方法により算出した額 (駐車場使用料)大分市営住宅等駐車場の管理に関する要領に規定する方法により算出した額						
利用料金制		未導入			選定方法		公募	
指定期間		令和 4年 4月 1日～ 令和 9年 3月 31日 (5 年間)				導入年度	平成 26 年度	
家賃収納率 (単位：％)				R6年度 目標④	98.50		達成率 ①／④	101％
H25年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度③	R 6 年度①	〇〇年度比 ①－②	R5年度比 ①－③	
97.98	99.81	99.70	99.78	99.91	99.79	1.81	▲0.12	
管理運営経費の削減額 (直営時比較・前指定期間比較) (単位：千円)								
直営時 管理運営経費(b)	前指定期間 最終年度R3年(c)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)	前指定期間比較 (a)－(c)	
69,760	28,722	28,722	31,000	31,000	31,000	▲38760	2,278	
利用者の満足度 (％)		満足	やや満足	配置職員数 (人)		直営時又は導入1年目		令和6年度
		55.68	11.78			23		7

2. 評価結果

評価項目／【配点】	評 価				
	特優	優	普通	劣	特劣
施設の設置目的の達成 (有効性の向上) に関する取組【有効性】					
1 事業計画の達成度 / 【配点3 0点】					
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。(1 0点)	10	8	5	2	0
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。※目標指標関係 (1 2点)	12	9.6	6	2.4	0
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。(5点)	5	4	2.5	1	0
自主事業は計画どおり実施されたか。(3点)	3	2.4	1.5	0.6	0
【評価の理由】 ○定期巡回等により、事故やトラブルの未然防止等に努めている。さらに、利用者からの施設の修繕に関する相談への対応も高く評価できる。 参考：アンケート調査において、修繕に関する相談をした際の対応について満足度94.02％、修繕の対応の迅速さについて満足度96.69％が「普通以上」と回答している。 ○ホームページで市営住宅の情報の発信を行うことにより、幅広く広報がなされている。また、ホームページは可能な限り最新の状態に更新できるように心がけており、情報を漏れなく市民に伝えることができています。 ○掲示物や設置物等の要望には、可能な限り対応しており、入居者の施設内での生活の利便性向上を目指して数多くの取組を実行している。					
2 利用者の満足度 / 【配点2 0点】					
利用者の満足度が得られているか。(1 0点)	10	8	5	2	0
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。(5点)	5	4	2.5	1	0
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。(5点)	5	4	2.5	1	0
【評価の理由】 ○利用者アンケートの結果、利用者の満足度「普通以上92％以上」という目標を達成し(94.79％)、利用者の満足度が高いことが認められる。 なお、アンケートは郵送配布し、回収は郵送又は持参としている。回収率は43.71％(670件)である。 ○前年度の利用者アンケートにおいて、利用者の満足度は93.57％が普通以上の回答であったのに対して、今年度は94.79％となっている。前年度より1.22％満足度が高いという結果から、サービスの質や量が向上していることがうかがえる。 ○電話や窓口、アンケート等で苦情・要望等把握し、それらに対し迅速で適切な対応を行っている。 ○団地内で行われるものについては、事前に管理人を通じて文書の回覧等を行い、入居者全体に連絡をするようにしており、事務連絡の遺漏がないように効率的な手段を確立している。					

効率性の向上等に関する取組【効率性】						
1 管理運営の効率性 / 【配点1 5点】						
経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。（5点）	5	4	2.5	1	0	
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
収入増加のための取組はされているか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
【評価の理由】 ○制度導入1年目（H26）と比較すると、人件費・事務費等管理運営費において縮減がなされている。 ○保守点検業務や修繕工事など、入札や見積の実施により、管理運営費の削減に努めている。 ○住宅使用料の滞納者に対し、文書、電話、住宅訪問による催告及び呼び出しによる納付指導がなされ、納付指導に応じない場合は、連帯保証人への納付指導依頼等を行っている。また、対象者選定補助業務など、法的措置に関しても本市と密に連携して早期回収を図り、適切に取り組んでいる。その結果、現年徴収率は、99.79%となり、目標の98.50%を上回る高水準となっている。現年度過年度合わせた徴収率は98.88%となり、前5年間と比較しても高水準である。						
公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】						
1 適正な管理運営 / 【配点3 0点】						
適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	
職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	
施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
利用者の個人情報等について適正に管理されているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
書類・備品等の管理は、適正に行われているか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
安全対策（事故防止等）は十分であったか。（3点）	3	2.4	1.5	0.6	0	
法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。（4点）	4	3.2	2	0.8	0	
【評価の理由】 ○法令等に違反する行為は見受けられておらず、関係法令の遵守に努めている。 ○個人情報保護に関する研修を実施するなど適切な対応がとられている。さらに、個人情報に関する規格（Pマーク）を保有しており、適切に管理されている。ただし、10月に受けたランサムウェアの被害を受けた際に一部協定書を遵守していない点が発見された。（指導済み） ○偏った対応は認められておらず、市民に対する平等な対応をしていることが伺える。 ○他の公営住宅や民間賃貸住宅の管理も手掛けており、安定的な経営が行われている。 ○事故等に対し迅速な対応ができるよう安全管理・危機管理マニュアルを策定し、緊急連絡体制を確立している。						
2 地域貢献 / 【配点5点】						
雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。（5点）	5	4	2.5	1	0	
【評価の理由】 ○保守点検業務や修繕工事など、地元企業も参加した入札を実施している。						

【総合評価】

合計得点(100点満点)	80.1	評価ランク(S～E)	A
【評価の理由】 ※管理運営に対する指摘事項等を記入 現年度過年度合わせた徴収率は98.88％となり、前5年間と比較して高い徴収率となっていることから、指定管理者の着実な努力がうかがえる。また、入居者からのアンケートでも満足度が高く、これまでの経験により蓄積されたノウハウを活かし、入居者からの要望や苦情に対し、迅速かつ的確に対応できる体制となっていることも評価できる。ただし、協定書を遵守せずランサムウェア被害を受けかねない体制を敷いていたことは反省すべき点である。			
【今後の対応】 ※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入 現年収納率の目標指標(98.5％)の確保はもちろんのこと、現年99％以上及び前年度以上の収納率の確保に向け収納強化を図るよう要請するとともに、滞納者へは分割納付など個々の生活状況に応じた納付相談に対応することで、滞納額の増加を防ぎ、未収金の減少を図られるよう監督・指導を行っていく。また、今後も苦情や要望に対し、迅速かつ的確な対応に努めるよう要請し、さらなるサービスの向上を目指す。さらに、修繕費の効率的な運用を図り、募集住戸を増やすなど入居率向上への取組を強化したい。			

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①2社のコスト比較を行うために、それぞれの事業報告書の統一や決算資料の科目統一ができないが検討されたい。	①2社のコストを比較しやすいよう、R6年度から報告書を一部統一している。

【R7年度 指定管理者評価部会の意見】

- ① ランサムウェア被害の事案発生時には、指定管理者が協定書を遵守していなかったことに起因して、市営住宅入居者の個人情報漏洩するリスクが増大した。今後このようなことがないように、協定書の遵守及び個人情報の保護について指導されたい。また、当該協定違反について、担当課の評価が曖昧な点が見受けられた。公正な評価を実施されたい。
- ② 大分県住宅供給公社との間で、それぞれが持つノウハウを共有できる場を持つことを検討されたい。
- ③ アンケートを集計するにあたっては、年齢別の満足度も調査するなど、利用者ニーズを正確に把握するよう指導されたい。

令和7年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	スポーツ振興課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年6月27日
施設種別	レクリエーション・スポーツ施設

1. 指定概要

施設概要	名称	大分市大洲総合体育館						
	所在地	大分市青葉町1番地						
	設置目的	市民の体育及びスポーツの振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与するため。						
	施設の建築年 (又は事業開始年)	昭和54年（令和2年4月1日に大分県から移管を受け供用開始）						
指定管理者	名称	ファビルス・ブランニング大分共同事業体						
	代表者名	㈱ファビルス 代表取締役 野田 太						
	所在地	福岡県福岡市博多区上呉服町10番1号						
指定管理業務の内容		①体育館の使用許可に関する業務 ②体育館の使用に係る利用料金の徴収に関する業務 ③体育館の施設及び設備の維持管理に関する業務 ④体育館の利用促進及び市民の体育並びにスポーツの振興を図る業務 ⑤その他、大分市又は指定管理者が必要と認める業務						
料金体系		【大体育室】フロア全部（1H）：2,500円 2分の1（1H）：1,250円 3分の1（1H）：790円 【小体育室】フロア全部（1H）：1,100円 2分の1（1H）：620円 【柔道場・剣道場】フロア全部（1H）：790円 2分の1（1H）：400円 【クライミングウォール】専用（1H）：630円 個人利用一般：100円 小～高校生：90円 【ボルダリングウォール】専用（1H）：360円 個人利用（1H）：150円 【トレーニングルーム】1人2時間：330円 等						
利用料金制		導入済			選定方法		公募	
指定期間		令和5年4月1日～令和10年3月31日（5年間）				導入年度		令和2年度
利用者数（単位：人）				R6年度 目標④	210,000		達成率 ①／④	101%
21年度② (直営時又は 制度導入1年目)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度③	R6年度①		21年度比 ①－②	R5年度比 ①－③
229,343	125,665	149,194	182,342	203,345	212,267		▲ 17,076	8,922
管理運営経費の削減額（直営時比較・前指定期間比較）（単位：千円）								
直営時 管理運営経費（b）	前指定期間 最終年度令和4年（c）	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(a)	直営時(初年度)比較 (a)－(b)		前指定期間比較 (a)－(c)
-	49,422	56,063	49,422	66,300	66,300	#VALUE!		16878
利用者満足度（%）		満足	やや満足	配置職員数（人）		直営時又は導入1年目		令和6年度
		37	40			17		20

2. 評価結果

評価項目	
施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組【有効性】	
1 事業計画の達成度	
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	
施設利用者数の増加、利用者利便性の向上など、事業計画に掲げた目標を達成できたか。	
施設の設置目的に即した事業の展開や取組が行われているか。	
自主事業は計画どおり実施されたか。	
【評価の理由】利用者数や会議室の稼働率など施設の設置目的の達成状況を示す指標について、目標（計画）及び実績、過去実績との比較、また、増減理由を明確に記入してください。 令和6年度利用者数：目標 210,000人（令和4年度 250,000人、令和5年度 200,000人） 令和6年度利用者数：実績 212,267人（令和4年度 182,342人、令和5年度 203,345人） ○令和5年度よりも目標人数を増加させているなかで、目標人数を達成している。 ○トレーニングルームについて、混雑状況を配信するサービスを導入することで、利用者の利便性の向上を図っている。 ○市報やホームページ等を活用し、自主事業やイベント情報等の発信を積極的に行っており、スポーツの振興に寄与している。	
2 利用者の満足度	
利用者の満足度が得られているか。	
利用者の意見・要望等の把握は適切に行われているか。	
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分に行われたか。	
【評価の理由】利用者アンケート等による利用者満足度について、結果、過去の結果との比較、また、その要因・原因を明確に記入してください。 ○利用者アンケートにおいて70%以上の利用者満足度となっており昨年度よりも上回っている。 ○特に、トレーニングルーム利用者や自主事業内容に関するアンケート結果が昨年度よりも改善されており、利用者要望を適切に対応している。 ○利用者の意見・要望の把握は適切に行われており、対応可能なものについてはすぐに対応を行っている。	

効率性の向上等に関する取組【効率性】

1 管理運営の効率性

経費の節減が図られているか。また、その取組は十分か。

一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。

収入増加のための取組はされているか。

【評価の理由】※収支について、実績、過去実績との比較、増減理由を明確に記入してください。

○施設使用率の増加や基準価格の高騰に伴い、光熱水費が増加している。
○施設の維持管理において可能な限り職員が行い、経費削減に努めている。

公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組【適正性】

1 適正な管理運営

適正な人員配置及び職員の管理体制は適正か。

職員の能力向上に向けた各種研修等の取組は行われたか。

施設の平等な利用等について、適正に処理されているか（使用料の減免等を含む。）。

利用者の個人情報等について適正に管理されているか。

収支の状況に不適切な点はないか。また、会計処理は適切か。

施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。

書類・備品等の管理は、適正に行われているか。

安全対策（事故防止等）は十分であったか。

法令・協定書等を遵守し、適正な管理が行われているか。

【評価の理由】※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。

○人権・同和問題研修や、安全管理研修を実施するとともに、品質研修を毎月実施している。
○法令に基づき適正に運営されている。
○条例等に基づき、公平かつ平等な利用が確保されるように努めている。
○従業員による安全指導など、安全管理に対して適切に対応されている。

2 地域貢献

雇用・資材調達・再委託など、地域貢献に努めているか。

【評価の理由】※できるだけ客観的なデータを交えながら、評価の理由を明確に記入してください。

○従業員の地元雇用や再委託先の地元業者との再委託により地域の活性化に貢献している。

【総合評価】

【所見】※管理運営に対する指摘事項等を記入

施設の利用者数が年々増加しており、これまでの指定管理者の実績・経験を踏まえ、円滑に施設管理運営を行っている。

【今後の対応】※中間評価の場合は、今後の管理運営に向けての意見等を記入

自主事業の取り組みが効果的で、利用者数増加に好影響を与えている。引き続き、経験を活かして取組むことを期待している。
施設の老朽化が進行しており、日常の施設点検を適切に実施することが重要である。

【前年度の大分市行政評価・行政改革推進委員会における指定管理者制度導入施設に対する主な意見等】

主な意見等	市の対応状況
①ボルダリング利用者には、リスクを認識したうえで利用してもらうため、誓約書を書かせるような対応を行われない。 ②利用者がより利用しやすいように改善するため、アンケート項目に「施設の利用しやすさ」の項目の追加を検討されたい。 ③体育館運営協力費の支出について、業務体制のチェックなどの実施を何らかの方法で行うべきである。	①ボルダリングは、年6回実施する講習会（講習者：大分県山岳協会）を受講し、「クライミングウォール利用者認定講習会終了証」を持参した者のみ利用できるため、利用者のリスク認識は講習会の修了によって担保できることから不要としている。 ②アンケート調査は、利用しやすさに似た質問項目(また施設を利用したいか)が既に設定されているが、質問を全体的に見直すことを引き続き検討する。 ③指定管理者から資料の提供を受け、チェックを実施し適切な執行であると判断した。引き続き適切な執行状況であるか確認する。

【R7年度 指定管理者評価部会の意見】

① 公共施設として、市民利用とコミッション事業のバランスを取りながら管理されたい。

② 指定管理の選定に際しては、「地元企業の育成」の視点を持ち、地場企業を戦略的に選定することも検討されたい。

③ なお、ボルダリングについて、利用者が危険性を理解していたとしても事故は起こり得るし、訴訟関係のリスクは残る。自己責任を確認すべく誓約書の徴収について再検討されたい。